



取扱説明書

NX702W

**ワイド6.8型WVGA 地上デジタルTV/DVD/SD
AVライトナビゲーション**

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に
必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、
後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

このたびはお買い求めいただきありがとうございます

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

特に「安全にお使いいただくために」では、ご本人や他の人々への危害や損害を負うことなく安全にご使用いただくためのご注意を記述しておりますので必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

- 本書の内容の一部は、仕様変更等により、本機と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本機を第三者に譲渡、転売、廃棄される場合は、お客様の個人情報 及び 著作権保護の為、本機に保存されたすべてのデータの消去(初期化)を行ってください。

本書に記載されているマークの意味

MEMO

お願い

お知らせ

- よく使う用語やわかりにくい用語の意味を説明しています。
- 操作の前に注意していただきたいことや、知っておいていただきたいことを説明しています。
- 本機を使いこなすための補足事項を説明しています。

リモコン操作

- 本書では主に操作パネルによる操作手順を記載しています。リモコン(別売)による操作手順等につきましては、当該マーク欄内に記載しています。

ナビゲーションシステムについて

GPSナビゲーションシステムは、衛星からの電波を受信して現在地を測位するGPS(Global Positioning System: 全地球測位システム)によって、現在地を地図の上に表示しながら目的地までの道案内(ルート誘導)をするものです。

本機は、あらかじめ目的地を指定すれば、目的地までの誘導ルートを自動的に探し出し(国道、主要地方道、都道府県道、主要一般道、高速道、有料道路で自動計算)、画面表示と音声で目的地までの道案内を行います。

ルート誘導時でも、走行中は実際の交通規制が優先されます。必ず道路標識など実際の交通規制に従い、安全を確かめて走行してください。

なお、一方通行・右折禁止などの地図データは鋭意正確性を心がけておりますが、日本全国で数万件以上の膨大なデータベースのため(変更の場合を含めて)、遺憾ながらまれに実際の道路標識と異なる場合があります。

その際は、恐れ入りますが実際の道路標識などにしがっていただきますようお願い申し上げます。

各取扱説明書の使いかた

本機には、次の説明書が添付されています。必要に応じてお読みください。

● 取扱説明書: 本書

- 主にオーディオ/ビジュアルの操作について説明しています。

● ナビゲーション操作ガイド

- ナビゲーション操作について説明しています。

● 本機取付説明書

- お買い求め後、本機を車に取り付ける方がお読みください。

● TVアンテナ取付説明書

- お買い求め後、TVアンテナを車に取り付ける方がお読みください。

※ 本機に接続される機器(ユニット)ごとに取付・取扱説明書が添付されていますので、あわせてお読みください。

- 取扱説明書は、弊社Webサイトからもご覧いただけます。
<http://www.clarion.com/>
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

はじめに	5	基本操作	15	DVD機能について	26
安全にお使いいただくために	5	電源のON/OFF	15	DVDを再生する	26
安全上のご注意 必ずお守りください	5	メインメニュー画面について	15	DVDメニューについて	27
使用上のご注意	7	画面の非表示/表示	16	DVDメニューを使う	27
安全運転への配慮	7	オーディオのオフ/オン	17	動画ファイルを再生する (MP4/DivXなど)	29
保証についてのご注意 (免責事項について)	7	音量を調整する	17	ディスク動画メニュー (MP4/DivXなど) について	29
ナビゲーションについて	7	時計を表示する	17	ディスク動画メニュー (MP4/DivXなど) を使う	30
mini B-CASカードについて	7	ラジオを聴く	18	購入したDivX動画の再生	32
SDカードについて	7	ラジオを選択する	18	CDを聴く	32
操作 (液晶) パネルについて	8	ラジオモード画面について	18	CDを再生する	32
ディスクの取扱い	8	放送局を選局する	18	CDメニューについて	32
USBメモリーについて	8	放送局を登録する	19	CDメニューを使う	33
リモコン (別売) について	8	テレビを観る	20	音楽ファイル (MP3/WMA) を再生する	34
Bluetooth機器について	8	テレビを観る前に	20	ディスク音楽メニュー (MP3/WMA) について	34
お手入れについて	9	はじめてテレビを観るときは	21	ディスク音楽メニュー (MP3/WMA) を使う	35
本機でご利用できるメディアについて	9	チャンネルリストについて	22	SDカードで観る・聴く	36
本機で再生できるオーディオ・ビデオメディア	9	テレビメニューについて	22	SDカードの出し入れ	36
本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式	10	チャンネル情報を表示する	22	SDカード使用上の注意事項	36
再生できる音楽/動画ファイルについて	11	テレビの選局をする	22	SDカードを再生する	37
本機の操作	12	テレビの便利な機能を利用する	23	SDカードメニューについて	38
各部の名称と働き	12	地上デジタル放送の設定をする	23	SDカードメニューを使う	38
操作パネル	12	Discについて	25		
本書でのハードボタンとタッチキーの操作表記	12	再生できるディスクとファイル	25		
リモコン (別売)	13	再生できるDVD/再生できないDVD	25		
リモコン (別売) を使う	14	再生できるCD/再生できないCD	25		
リモコン (別売) 使用上の注意事項	14	使用できないディスク/アクセサリ	25		
ステアリングリモコンを使う	14	ディスクの挿入と取り出し	26		
		DVDを観る	26		

外部機器の操作 40**USBメモリで観る・聴く 40**

USBメモリの接続 40

USBメモリ使用上の注意事項 40

USBメモリを再生する 40

USBメニューについて 41

USBメニューを使う 41

iPod®/iPhone®で観る・聴く 43

iPod/iPhone使用上の注意事項 43

iPodを接続する/再生する 43

iPodメニューについて 43

iPodメニューを使う 44

Bluetoothを使う 46

Bluetooth使用上の注意事項 46

携帯電話を登録する(ペアリング) 46

接続する携帯電話を切り替える 47

電話モード画面について 47

電話をかける 48

電話を受ける(着信に応答する) 49

Bluetoothオーディオを再生する 49

Bluetoothオーディオメニューについて 49

Bluetoothオーディオメニューを使う 49

AUX・リアモニターを使う 50

AUXへの外部機器の接続 50

AUXを使う 50

リアモニター(別売)を使う 50

カメラを使う 50

リアカメラ(別売)の接続 50

リアカメラ(別売)を使う 50

設定メニュー 51**設定画面 51**

全般 51

時刻 51

サウンド 52

表示 52

設定 52

盗難防止 53

困った時は 54**故障かなと思ったら 54****エラー表示について 56****盗難防止用暗証番号を忘れてしまったら 56**

暗証番号照会申込書 56

付録(その他) 57**製品を廃棄・譲渡・転売するときは 57**

本機内のデータ消去について 57

データを初期化する 57

保証書とアフターサービス 57**ナビゲーションのしくみ 58**

GPSによる測位 58

マップマッチング 58

誤差について 58

仕様 59**商標について 60**

安全にお使いいただくために

安全上のご注意 必ずお守りください

運転者や周囲の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。以下の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし、説明しています。

	警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けし、説明しています。

	(注意)	注意しなければならない「注意」の内容です。
	(禁止)	してはいけない「禁止」の内容です。
	(実行)	必ず行なっていただく「実行」の内容です。

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますので注意してください。

正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。

■ ご使用になるときの注意事項

警告



(禁止)

- **走行中、運転者はナビゲーションの画像を注視しない**
道路状況への注意が散漫になり、交通事故の原因となります。走行中は音声案内を参考として、実際の交通規則に従ってください。運転者がナビゲーションの画像を注視するときは、必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いた状態で使用してください。
- **走行中、運転者による操作をしない**
前方不注意による交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いた状態で使用してください。
- **走行中、運転者はテレビやDVDの映像を観ない**
前方不注意による交通事故の原因となります。運転者がテレビやビデオの映像を観るときは、必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いた状態で使用してください。
- **分解や改造をしない**
分解、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源をとることは絶対におやめください。事故、火災、感電、故障の原因となります。
- **カード類※は 乳幼児の手の届く所に置かない**
※microSDカード / mini B-CASカード
誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください
- **故障や異常のまま使用しない**
画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異常な音がする、変なおいがするなどの場合は、ただちに使用を中止してください。火災、感電の原因となります
- **機器内部に水や異物を入れない**
万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なおいがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。必ずお買い求めの販売店に相談してください。
- **本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない**
本製品には全ての病院、消防署、警察署などの情報が含まれている訳ではありません。また実際の情報と異なる場合があり、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。
- **雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触れない**
落雷による感電のおそれがあります。
- **運転者がテレビやビデオ、ナビゲーションの地図を観るときは、必ず安全な場所に停車させる**
安全のため、パーキングブレーキを引いた状態で停車させないと、一部の操作ができないようになっています。
- **ナビゲーションによるルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う**
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規則に反する場合があります、交通事故の原因となります。
- **DC12V⊖アース車で使用する**
DC24V車(大型トラックや、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用し、交換は専門技術者に依頼する**
規定容量以上のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。



(実行)

⚠ 注意



(禁止)

- 車載以外に使用しない
けがや感電の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に異物を入れない
火災や感電の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に手や指を入れない
手や指をはさみこむと、けがの原因となります。
- 本体・操作パネルを、たたくなど強い衝撃を与えない
操作パネルや液晶表示部が、破損・変形し故障の原因となります。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らない
タッチパネルの反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。



(実行)

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 電源を切るときは、音量を最小にする
電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- 取り付け・取り外しや配線は専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をする、運転に支障をきたし事故や故障の原因となります。
お買い求めの販売店に依頼してください。
- 接続コードの取り付け、取り外しは、エンジンを切って作業する
エンジンをかけた状態で作業すると、故障や誤作動の原因となります。



(注意)

- 医用電気機器などへの影響を確認してください
本機は、無線機能を搭載しています。
心臓ペースメーカー、その他医用電子機器をご使用になる場合は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。
- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください
エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。
なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例に従ってください
- 使用中やエンジンを切った直後に本機のケースに触れないでください
本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中やエンジンを切った直後に、本機のケースに触れないでください。

■ リモコン（別売）についての注意事項

⚠ 警告



(禁止)

- 加熱・分解したり、火・水の中に入れない
電池の破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚損させる原因となることがあります。
- 電池は、金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯しない、保管しない
電池の破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚損させる原因となります。



(実行)

- リモコン内に電池を入れるときは、極性(⊕極と⊖極)に注意し、指示どおりに入れる
指示どおりに入れないと電池の破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚損させる原因となることがあります。
- 電池の交換は、指定された電池、もしくは同等品の電池と交換する
正しく交換しないと電池の破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚損させる原因となることがあります。
- 電池の液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で充分洗う
失明のおそれがありますので、直ちに医師の診断を受けてください。
- 電池の液が皮膚や衣服についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流す
皮膚に障害をおこすおそれがありますので、直ちに医師にご相談ください。

⚠ 注意



(禁止)

- 電池は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。
- 電池は、充電しない
電池の破裂により、けがの原因になることがあります。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
電池の破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚損させる原因となることがあります。
- 液もれ、変色、変形など異常なまま使用しない
電池の発熱や破裂により、火災やけがの原因となります。



(実行)

- 使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する
リチウム電池には過塩素酸塩が含まれています。使用済みの電池を廃棄する際は、お住まいの国や地域で定められた、政府規制および環境関連の公的機関のルールに従ってください。
- 直射日光のあたる場所、高温・高温の場所では保管しない
電池の発熱や破裂により、火災やけがの原因となります。

使用上のご注意

安全運転への配慮

- 安全運転への配慮から、ナビゲーション・テレビなどは停車させていないと、一部の操作ができないようになっていきます。
- テレビ・DVDなどの映像が映しだされるのは、停車中だけです。映像をご覧になるときは、必ず、車を安全な場所に停車させ、パーキングブレーキを引いた状態でおいしくください。走行中は、音声のみを聴くことができます。

保証についてのご注意(免責事項について)

- 保証を受ける際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証の際には、付属品を回収させていただく場合がございます。
- 本機の故障により保存できなかったデータ、および消したデータに関しては、保証いたしておりません。
- 次のような場合は、保証期間内でも保証は適用されません。
 - お取り扱い上の不注意(取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水濡れなど)
 - 不当な修理や改造・分解による故障および損傷
 - 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷
 - ご使用後の傷、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷
 - 非常な使用方法でも消耗部品が自然消耗、磨耗、劣化した場合およびピックアップレンズなどの清掃などは保証の対象外となります。

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことにより生じる不具合に対しては責任を負いかねますので注意してください。

正しく取り扱いなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。

ナビゲーションについて

- 購入後、はじめてお使いになるときや長時間お使いにならないとなつたときは、現在地を測定するまで5分～15分ぐらいかかることがあります。また、通常お使いになっている場合でも、測定状況により測定するまで2分～3分程度かかることがあります。
- 上空に障害物がない道、または周辺に高いビルがない(GPSが受信できる)道で、約5分間、法定内のスピードで定速走行を行ってください。
- GPS情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測定誤差が大きくなることがあります。その他にもGPSアンテナの電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。
- 検索機能から表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を表したものです。そのまま目的地を設定した場合、まれに施設の裏側や、高速道路など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。予めご了承の上、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
- ルート(経路)計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっても、計算できない場合があります。
- 本機の近くで強力な電磁気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 音声データにより聞き取りにくい名称があります。
- キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーをナビゲーション本体に近づけると、ナビゲーション本体が動作しなくなる場合があります。また、キーをナビゲーション本体やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。

mini B-CASカードについて

地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送しています。その信号を有効に機能させるためにmini B-CASカードが必要となります。使用許諾契約約款をよくお読みの上、次のことをお守りください。

- mini B-CASカードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わるとカードが故障するおそれがあります。
- mini B-CASカードの接触(金属)端子面は触らないでください。接触端子面に触れるとカードが故障するおそれがあります。
- mini B-CASカードを直射日光に当たるところに長時間放置しないでください。高温によりカードが故障するおそれがあります。
- mini B-CASカードを磁気がある場所に放置しないでください。磁気によりカードが故障するおそれがあります。
- mini B-CASカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
- mini B-CASカードは、分解加工は行わないでください。
- mini B-CASカードは、カード挿入口に正しく挿入してください。
- ご使用中に、mini B-CASカードの抜き差しはしないでください。地上デジタル放送が視聴できなくなる場合がございます。
- 破損、紛失などmini B-CASカードの再発行には手数料がかかります。
- 試乗車など、不特定、または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
※ 試乗車の場合は、特別用途向けカードをご使用ください。

本機に付属のmini B-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。

ID番号は大切な番号です。(株)エース・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。

- ID番号を忘れてしまったときは、「mini B-CASカード情報を確認する」(24ページ)の手順にて確認してください。

mini B-CASカードに関するお問合せ先について
本機に付属のmini B-CASカードについてのお問い合わせや、カードを紛失された場合は、下記の連絡先へお問合せください。

連絡先 株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ

カスタマーセンター

電話番号:0570-000-250

受付時間:AM10:00～PM8:00(年中無休)

SDカードについて

- 本機に装着して使用できるSDカードの種類は、microSD/microSDHCカードのみです。ご使用に際しては次のことをお守りください。
- 読み込みなどの使用中に、microSDカードを本機から抜いたり、エンジンをついたりしないでください。
- microSDカードを本機で使用する際は、パソコン・カメラおよび周辺機器・カメラが提示する警告・注意指示もあわせてお読みください。
- microSDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- microSDカードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、microSDカードを拭かないでください。
- microSDカードの端子面に、手や金属で触れないでください。



- microSDカードの最適化は行わないでください。
- microSDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。

お願い

本機に格納されている地図専用microSDカードは、地図情報の書き込まれたmicroSDカードです。必要なとき以外は、抜き差ししないでください。

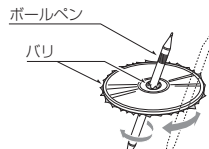
操作(液晶)パネルについて

- 操作パネルが正常に動作する温度は0℃～60℃です。
- 飲み物や傘に付着した雨水などの液体がかからないようにしてください。機器内部の電子部品が損傷する場合があります。
- 分解や改造を行わないでください。故障の原因となる場合があります。
- 操作パネルに衝撃を加えると、破損や変形、または他の故障の原因となる場合があります。
- ディスプレイ部にたばこの火がふれないようにしてください。
- 問題が生じた場合、お買い求めの販売店にご相談ください。
- リモコン受光部が直射日光にさらされていると、リモコンが動作しない場合があります。
- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶パネル部に小さな黒点や輝点が出る場合がありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。
- 液晶パネルが汚れた場合は、「操作(液晶)パネルのお手入れ」(9ページ)をご覧ください。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤動作の原因となる場合があります。

ディスクの取扱い

■取り扱い上のご注意

- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンで文字などを記入しないでください。
- セロハンテープなどの糊がはみ出したり、はがした痕があったりするディスクは使用しないでください。そのままDVDプレイヤーに入ると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因となります。
- 大きな傷、歪み、ひびなどがあるディスクは使用しないでください。そのようなディスクは誤動作や故障の原因となります。
- 保存ケースからディスクを取り出す際は、ケースの中央部分を押し下げ、注意深くディスクの両ふちを持ちながらディスクを浮かせて取り出してください。
- 市販のディスク保護シートやスタビライザーを付けたディスクなどは使用しないでください。ディスクの損傷や内部機器の故障の原因となります。
- ディスク用クリーナーを使用した場合は、再生の前にディスクをよく乾かしてください。

■保管時のご注意

- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くには保管しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所には保管しないでください。
- 暖房の熱が直接あたる場所には保管しないでください。

USBメモリーについて

- USBメモリーが正しく動作するためには「USB mass storage class」と認識される必要があります。一部のモデルは正しく動作しない場合があります。何らかの理由で保存データが消失、または損傷した場合でも、弊社は何ら責任を負うものではないことをご了承ください。
- USBメモリーをご使用になる前にパソコンなどにデータのバックアップを保存されることをおすすめします。
- 以下の状況でUSBメモリーをご使用になると、データファイルが破損する場合があります。データの読み込み/書き込み中にUSBメモリーの接続を解除した場合、または電源をオフにした場合、静電気または電磁的なノイズの影響を受けた場合

リモコン(別売)について

- リモコンの発信距離が短くなったり、操作可能範囲が狭くなった場合は、リモコンの電池を交換してください。
- リモコン受信部に直射日光が当たっていると、操作ができない場合があります。このような場合は、直射日光をさげさせて操作してください。
- リモコンは、直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所には放置しないでください。本体の変形や電池の液漏れなど、故障の原因となります。
- リモコンを1ヶ月以上使用しないときは、液漏れ防止のため、電池をリモコンから取り出してください。
- 電池が液漏れした場合は、リモコンをきれいにふき取り、新しい電池と交換してください。
- リモコンの電池は、CR2025(3V)リチウム電池(1個)をご使用ください。
- リモコンを車内の床に落とさないでください。ブレーキまたはアクセルペダルの下にはさまと、運転操作の妨げとなり、交通事故の原因となることがあります。
- 電池を取り扱う際に、金属製の道具を使わないでください。
- 電池と金属製のものを一緒に保管しないでください。

Bluetooth機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の放射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店、または弊社相談窓口までお問い合わせください。



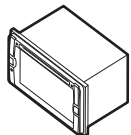
本機でご使用できるメディアについて

お手入れについて

本機やCD・DVDのディスク類、TVアンテナ等のお手入れについて説明します。

■本機・リモコンのお手入れ

- 本機・リモコンをお手入れするときは、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどを使用すると、変質したり、塗料がはがれたりする原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。



■操作（液晶）パネルのお手入れ

- 液晶パネル部はホコリがつきやすいので、ときどき、やわらかい布でふいてください。表面が傷つきやすいので、硬いものでこすらないでください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- タッチパネルに保護シートを貼らないでください。誤動作する場合があります。



■ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりがついた場合は、ディスクの中央から外周に向けて、やわらかい布でふいてください。
- ディスクのお手入れに、市販のクリーナー、静電気防止スプレー、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。



■テレビアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウ（室内側）をお手入れする際は、アンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を優しくしぼり、軽く拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- お手入れの際は、アンテナケーブル・フィルムアンテナを引っかかないようにご注意ください。また、アンプ部に水滴等水分がかからないようにしてください。



本機で再生できるオーディオ・ビデオメディア

本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアは以下の通りです。

■DVD

市販されているDVDです。

本機で再生できるディスク、使用できないディスク/アクセサリは、「再生できるディスクとファイル」(25ページ)をご覧ください。

DVD-RディスクなどにMP3/WMA形式の音楽ファイルやMP4/DivX形式などの動画ファイルを保存して楽しむことができます。

本機でDVDをお楽しみいただくには、「DVDを観る」(26ページ)をご覧ください。



■CD

市販されているCDです。

本機で再生できるディスク、使用できないディスク/アクセサリは、「再生できるディスクとファイル」(25ページ)をご覧ください。

CD-RディスクなどにMP3/WMA形式の音楽ファイルを保存して楽しむことができます。

本機でCDをお楽しみいただくには、「CDを聴く」(32ページ)をご覧ください。



■USBメモリー

ご使用できるUSB条件

- USB 1.1/2.0
- MSC (USB mass storage class) 対応品

※ 上記に準拠していないUSB 機器は接続しないでください。正しく再生できません。

また、上記を満たしているUSB機器でも、機種や状況によって正しく再生できない場合もあります。

USBメモリーにMP3/WMA形式の音楽ファイルやMPEG4形式などの動画ファイルを保存して楽しむことができます。本機でUSBメモリーをお楽しみいただくには、「USBメモリーを再生する」(40ページ)をご覧ください。



■SDカード

本機に装着して使用できるSDカードの種類は、microSD/microSDHCカードのみです。

SDカードにMP3/WMA形式の音楽ファイルやMPEG4形式などの動画ファイルを保存して楽しむことができます。本機でSDカードをお楽しみいただくには、「SDカードで観る・聴く」(36ページ)をご覧ください。



本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式

■ 本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式

本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式は下表で○がついたものだけです。

分類	ファイル形式			メディア			
	ファイル拡張子	音声形式	映像形式	CD※1	DVD	USB	SD※2
オーディオ	.mp3	MP3	—	○	○	○	○
	.wma	WMA	—	○	○	○	○
ビデオ	.avi	MP3	DivX 3.11/4/5/6	○	○	○	×
	.mp4	AAC	MPEG4 visual	○	○	○	○
			MPEG4 AVC	×	×	×	○
	.m4v	AAC	MPEG4 visual	×	×	×	○
	.mpg	MP3	MPEG1	○	○	○	×
			MPEG2	○	○	○	○
	.3gp	AAC AMR	MPEG4 visual H.263	×	×	×	○
	.divx	MP3	DivX 3.11/4/5/6/7	○	○	○	×

○:再生できます ×:再生できません

※1 CDで再生出来るファイルは、ビットレートが1.5Mbps以下のファイルです。

※2 本機に装着し使用できるSDカードの種類は、microSD/microSDHCカードのみです。

■ 本機で再生できるファイル拡張子

- **mp3ファイル**
 - ・フォーマット :MPEG1/2 Audio layer 3
 - ・ビットレート :8 k ~ 320 Kbps
 - ・サンプリング周波数 :8/12/16 /22.05/ 24/32/44.1/48 KHz
 - ・ジョイントステレオ対応
 - ・ID3_タグ情報表示 :Title, Artist, Album
- **wmaファイル**
 - ・フォーマット :Windows media Audio Standard L3 profile
 - ・ビットレート :32 k ~ 320 Kbps
 - ・サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz
 - ・WMA_タグ情報表示 SD :Title, Artist, Album Disc/USB: Title, Artist
 - ・DRM/Professional/Lossless/Voice 非対応
- **aviファイル (Disc/USB)**
 - ・フォーマット :Divx 3.11/4/5/6
 - ・ビクチャサイズ :720 × 480
 - ・ビデオビットレート :最大 6 Mbps
 - ・音声フォーマット :MP3
 - ・音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz
- **mp4ファイル (Disc/USB)**
 - ・フォーマット :MPEG4 Visual
 - ・プロファイル&レベル :Simple @L1
 - ・ビクチャサイズ :720 × 480
 - ・ビデオビットレート :最大 6 Mbps
 - ・音声フォーマット :AAC
 - ・音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz
- **mp4ファイル (SD)**
 - ・フォーマット :MPEG4 AVC/H.264, MPEG4 Visual
 - ・プロファイル&レベル :Baseline @1.3 Simple @L1
 - ・ビクチャサイズ :480 × 272
 - ・ビデオビットレート :最大 3 Mbps
 - ・音声フォーマット :AAC
 - ・音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz
- **m4vファイル (SD)**
 - ・フォーマット :MPEG4 AVC/H.264, MPEG4 Visual
 - ・プロファイル&レベル :Baseline @1.3 Simple @L1
 - ・ビクチャサイズ :480 × 272
 - ・ビデオビットレート :最大 3 Mbps
 - ・音声フォーマット :AAC
 - ・音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz
- **mpgファイル (Disc/USB)**
 - ・フォーマット :MPEG1, MPEG2
 - ・ビクチャサイズ :720 × 480
 - ・ビデオビットレート :最大 3 Mbps (Mpeg1), 6 Mbps (Mpeg2)
 - ・音声フォーマット :MP3
 - ・音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz
- **mpgファイル (SD)**
 - ・フォーマット :MPEG2
 - ・ビクチャサイズ :480 × 272
 - ・ビデオビットレート :6 Mbps
 - ・音声フォーマット :MP3
 - ・音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz
- **3gpファイル (SD)**
 - ・フォーマット :MPEG4 Visual, H.263
 - ・プロファイル&レベル :Simple, Baseline
 - ・ビクチャサイズ :480 × 272
 - ・ビデオビットレート :最大 3 Mbps
 - ・音声フォーマット :AAC, AMR
 - ・音声サンプリング周波数 :8/16/32/44.1/48 KHz
- **divxファイル (Disc/USB)**
 - ・フォーマット :Divx 3.11/4/5/6/7
 - ・ビクチャサイズ :720 × 480
 - ・ビデオビットレート :最大 6 Mbps
 - ・音声フォーマット :MP3
 - ・音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

※ 以上のファイル形式は再生できる事をすべて保証するものではありません。

※ ご使用になられたコーデックによっては再生できないファイルもあります。

再生できる音楽/動画ファイルについて

本機では、MP3、WMAの音楽ファイル、DivX/MPG/MPEG4/AVCなどの動画ファイルに対応しています。詳しくは、「本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」(10ページ)をご覧ください。

■音楽/動画ファイルについて

- MP3とは、MPEG規格のオーディオ・レイヤー3 (MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式です。
- WMAとは、マイクロソフトが開発した音声圧縮方式です。
- MP3、WMAの音声圧縮方式は、パソコンユーザーの間で標準フォーマットとして浸透しています。オリジナルの音源データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特徴です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。
- MPEG4とは、Moving Picture Experts Group phase 4の略称で、映像圧縮技術に関する標準フォーマットです。
- DIVXビデオについては、DivXは、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLCが開発したデジタルビデオフォーマットです。

●動画ファイルについてのご注意

- 動画ファイルの作成方法、エンコードソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- 以下のファイルは、正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
 - 極端にサイズの大いファイル、または極端にサイズの小さいファイル
 - 極端に再生時間の長いファイル、または極端に再生時間の短いファイル
 - パケットライト方式には非対応です。
 - 同一ファイル内に音声・映像以外の情報(画像など)が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
- 動画ファイルの作りかたによっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。

- 動画ファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
- USBメモリのメディアにより正常に再生できない場合があります。

●音楽ファイルについてのご注意

- 音楽ファイルの作成方法、エンコードソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声にノイズが発生する場合があります。
- CD-R/RWモードで記録されたCDの場合は、ご使用にならない場合があります。
- パケットライト方式には非対応です。
- MP3/WMAファイルのVBRファイルを再生、早送り/早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。
- MP3/WMAファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
- ディスク/USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できないことがあります。

■著作権保護されたファイルについて

- テレビ放送や、ビデオ、DVD、CDなど、個人で作成したものでない映像、音声を含め個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。
- 著作権保護された音楽ファイル/動画ファイルは再生できません。

■TAG情報の表示について

- TAG情報を持つMP3、WMAファイルの場合、タイトル、アーティスト、アルバム/タイトルなどのTAG情報を表示することができます。
- 表示できるタグ情報については、「本機で再生できるファイル拡張子」(10ページ)欄をご覧ください。
- 本機で表示できるID3 TAGは、ID3 TAG(バージョン2.4、2.3、1.1、および1.0です。バージョン2.4、2.3のタグが優先表示されます。

MEMO

TAG情報の文字コードがUNICODEでない場合には、正しく表示されません。

■記録フォーマットについて

本機で使用できるライティングソフトのフォーマットは以下の通りです。

●ディスクフォーマット

- 「ISO9660 (レベル1,2) (拡張フォーマットを含まない)」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には、正常に再生しない場合があります。

●USB機器フォーマット

- FAT32またはFAT16です。

■再生できるファイル拡張子について

- 「本機で再生できるファイルとファイル拡張子は、[本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」(10ページ)に記載されているものだけです。
- 拡張子をつける場合は、MP3ファイルでは「.mp3」、WMAファイルでは「.wma」のように、必ず半角文字にしてください。拡張子をつけなかった場合や大文字と小文字が混在する場合には、正常に再生できません。
- サポートされていない拡張子のファイルは、再生の際はスキップされ、スキャン再生/ランダム再生/リピート再生モードはキャンセルされます。

お願い

雑音や故障の原因となるため、対応していない音楽ファイル/動画ファイルに、再生可能な拡張子(.mp3/.wma/.mp4/.aviなど)を付けないでください。対応していない音楽/動画ファイルに再生可能な拡張子をつけると、誤認識して再生され、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損させる恐れがありますので必ずお守りください。

MEMO

同じフォルダ内に拡張子の異なるファイルを保存することができます。

■ファイル名/フォルダ名の表示

- ファイル名とフォルダ名は、使用されている文字によっては、正しく表示されない場合があります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合は、そのファイルは再生できないときがあります。
- MP3/WMA/AACの再生では、ファイル名/フォルダ名をタイトルとして表示することができますが、タイトルはUNICODEで20文字以内となります。それ以上の半角英数字/記号を入力したファイル名/フォルダ名は、正しく表示されない場合があります。

■フォルダ数/ファイル数の制限について

認識可能なフォルダ/ファイルの最大数は以下の通りです。最大数を超過して記録されている場合、超過しているフォルダ/ファイルは認識されませんのでご注意ください。

●ディスク/USB/microSD

- フォルダ: 最大255
- ファイル: 最大6000(1フォルダあたり最大999)

■フォルダ構成/再生するファイルの順番

●フォルダ構成

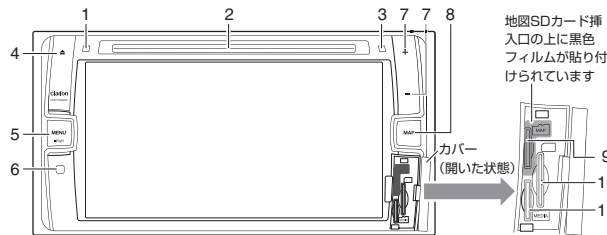
- フォルダ階層は8階層以内としてください。これを超える場合は再生できません。又、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。

●再生するファイルの順番

- 再生/フォルダ検索/ファイル検索/フォルダ選択でファイルやフォルダが選択される順番は、フォルダの構造、ファイル名、記録された順番などにより異なります。
- 再生順を設定する場合は、ファイル名の先頭に「01」～「99」のような連番を書き込んでください。連番順に再生されます。

各部の名称と働き

操作パネル



1. リセットボタン/盗難防止LED

- ・ 押すと元の設定を読み込みます。

MEMO

リセットボタンを押すと、メモリーに保存されているラジオ局の周波数やタイトルなどが消去されます。

- ・ 盗難防止イルミ設定がonのとき、ACCオフ時、LEDが点滅します。(51ページ)

2. ディスク挿入口

- ・ ディスクを挿入します。(26ページ)

3. 内蔵マイク

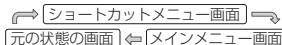
- ・ Bluetooth対応携帯電話通話時に使用する内蔵マイクです。

4. [▲] イジェクトボタン

- ・ 挿入されているディスクをイジェクトします。(26ページ)

5. [MENU/■PWR] ボタン

- ・ BluetoothをON/OFFします。(15ページ)
- ・ イグニッションがONのときに押すと、電源が入ります。
- ・ 電源が入っているときに押し続けると、電源が切れます。
- ・ ショートカットメニュー画面、メインメニュー画面を表示します。
- ・ ボタンを押すたびに以下の順に、画面を切り替えます。



6. リモコン受光部

- ・ リモコン(別売)から信号を受信します。

7. [-] ボタン / [+] ボタン

- ・ 押すと音量が小さくまたは大きくなります。(17ページ)

8. [MAP] ボタン

- ・ ナビゲーションモードに切り替えます。(16ページ)
- ・ 電源が入っているときに押すと、ナビゲーションモードになります。

9. 地図SDカード挿入口

- ・ 地図専用microSDカード(地図情報の書き込まれた専用のmicroSDカード)が格納されています。

お願い

- ・ 工場出荷時には、地図SDカード挿入口の上に黒色フィルムが貼り付けられています。プログラムの更新や地図更新時にはフィルムをはがし、地図専用microSDカードの抜き差しを行います。その他の操作時には、絶対に抜き差しを行わないでください。
- ・ 取り出した地図専用microSDカードを下側のmicroSDカード挿入口に挿入したり、地図SDカード挿入口にお手持ちのmicroSDカードを装着してのご使用は絶対に行なわないでください。カード内のデータが消去されたりして、正常なナビ動作、再生動作ができなくなる恐れがありますのでご注意ください。

10. mini B-CASカード挿入口

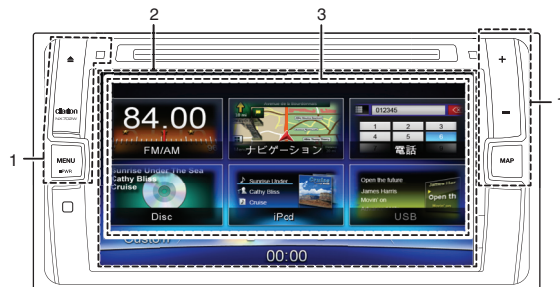
- ・ mini B-CASカードを挿入します。(21ページ)

11. microSDカード挿入口

- ・ microSDカードを挿入します。(36ページ)

本書でのハードボタンとタッチキーの操作表記

本体に付いているハードボタン、画面を指先で触れるだけで操作できる操作パネル上のキーに関して本書では以下のように表記しています。

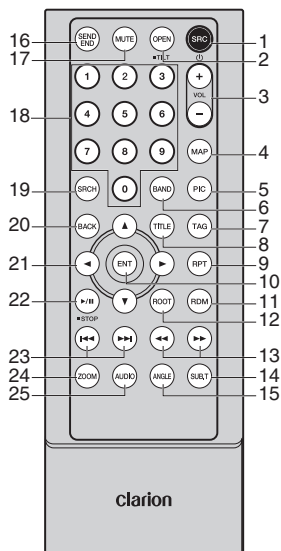


本書の操作説明上の名称

1. ハードボタン	2. キー (操作パネル画面上)	3. アイコン (操作パネル画面上)
-----------	------------------	--------------------

本書の記載			操作
操作箇所	対象	操作記述	
操作の対象となる箇所を指マークが示します	ハードボタン	押す	押してすぐに離します。
	操作パネル(キー、アイコン)	タッチする	タッチしてすぐに離します。
	ハードボタン	押し続ける	・ 状態が変化するまで押し続けます。 押し続ける時間は、およそ2秒以上が目安です。 ・ 画面表示などが切り替わった時に離します。
	操作パネル(キー、アイコン)	タッチし続ける	・ 状態が変化するまでタッチし続けます。 タッチし続ける時間は、およそ2秒以上が目安です。 ・ 画面表示などが切り替わった時に離します。

リモコン(別売)



1. [SRC] ボタン

- 電源をON/OFFします。
- イグニッションがONのときに押すと、本機の電源が入ります。
- 本機の電源が入っているときに押し続けると、電源が切れます。
- メインメニュー画面を表示します。
- メインメニュー画面で押すと、順にモード選択状態が移動します。選択状態のまましばらくすると選択したモード画面になります。

2. [OPEN] ボタン

- 本機では使用しません。

3. [+] (プラス)、[-] (マイナス) ボタン

- 音量を調整します。

4. [MAP] ボタン

- ナビゲーションモードとオーディオモードを切り替えます。

5. [PIC] ボタン

- 画質を調整します。

6. [BAND] ボタン

- 受信バンドを切り替えます。

7. [TAG] ボタン

- 本機では使用しません。

8. [TITLE] ボタン

- DVDのタイトルメニューを表示します。(この機能に対応していないDVDディスクもあります。)

9. [RPT] ボタン

- DVD再生モードで押すと、チャプター/タイトルのリピート再生やリピート再生の終了をします。
- CD再生モードで押すと、トラックのリピート再生やリピート再生の終了をします。
- ディスク上のMP3/WMAや動画ファイルの再生モードで押すと、トラックやフォルダのリピート再生やリピート再生の終了をします。
- USB/microSDメモリ上のMP3/WMAや動画ファイルの再生モードで押すと、トラックやフォルダのリピート再生やリピート再生の終了をします。

10. [ENT] ボタン

- 10キー入力画面での入力データを確定する場合、または選択中の項目を確定する場合に押します。

11. [RDM] ボタン

- CD再生モードで押すと、トラックのランダム再生やランダム再生の終了をします。
- ディスク上のMP3/WMAや動画ファイルの再生モードで押すと、トラックやフォルダのランダム再生やランダム再生の終

了をします。

- USB/microSDメモリ上のMP3/WMAや動画ファイルの再生モードで押すと、トラックやフォルダのランダム再生やランダム再生の終了をします。

12. [ROOT] ボタン

- DVDのルートメニューを表示します。

13. [◀▶], [▶▶], [▶▶] ボタン

- ラジオモードで押すと、前の/次の放送局を手動で選局します。
- 早送り/早戻しで検索を行う場合に押します。押すたびに、速度が変更されます。

14. [SUB.T] ボタン

- DVDの再生中に次のサブタイトル(字幕言語)に切り替えます。
- テレビモードで字幕のON/OFFを切り替えます。

15. [ANGLE] ボタン

- DVDの再生中に違うアングルに切り替えます(この機能に対応していないDVDもあります)。

16. [SEND/END] ボタン

- 掛ってきた電話を受けます。
- 通話中の電話を切ります。

17. [MUTE] ボタン

- スピーカーの消音、または消音の解除をします。
- 画面右下に表示されるは、スピーカーが消音状態であることをあらわします。

18. [0 - 9] ボタン

- 放送局を選局する場合に10キーとして使用します。
- トラックを選択する場合にトラック一覧画面で使用します。
- DVDのチャプター番号/タイトル番号を入力する場合に10キー入力画面で使用します。

19. [SRCH] ボタン

- DVD再生中にチャプター/タイトルの10キーによる検索画面を表示します。
- テレビモードで中継局サーチを開始します。

20. [BACK] ボタン

- メインメニュー画面を終了します。

21. [▲], [▼], [◀], [▶] ボタン

- DVDのタイトルメニュー画面での選択状態が移動します。
- 画質調整画面で、選択の移動や数値調整ができます。

22. [▶ / ||] / [■] ボタン

- ビデオやオーディオメディアの再生や一時停止をします。
- ビデオやオーディオメディアを停止する場合には、押し続けます。

23. [◀▶], [▶▶], [▶▶] ボタン

- ラジオモードで押すと、登録されている前の/次の放送局に切り替えます。
- ラジオモードやテレビモードで押し続けると、前の/次の放送局にシーク選局します。
- DVDビデオモードで押すと、前の/次のチャプターを選択できます。
- CDモード、DVDオーディオモード、USBビデオ/オーディオモード、Bluetoothモードで押すと、前の/次のトラックを選択できます。

24. [ZOOM] ボタン

- DVDの再生中にターンやズームインを行う場合に押します。3倍までズームインが行えます(この機能に対応していないDVDディスクもあります)。

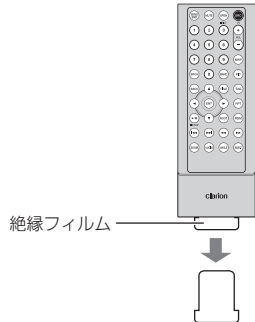
25. [AUDIO] ボタン

- DVD再生中に言語を切替えます。

リモコン(別売)を使う

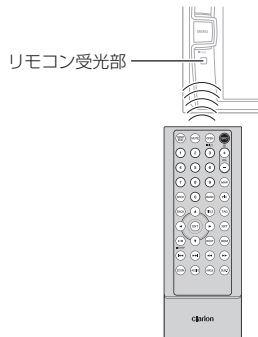
■ リモコンを使用する

はじめてリモコンをお使いになるときは、リモコンから出ている絶縁フィルムを引き抜いてください。



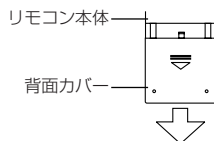
■ リモコンの向ける方向

リモコンは、操作パネルのリモコン受光部に向けて操作してください。

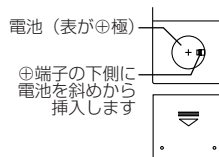


■ 電池を交換する

1. リモコンの背面カバーをスライドさせて取り外します

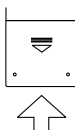


2. プラス⊕極とマイナス⊖極を正しく合わせて、電池を挿入します



- 古い電池を取り出し、取り出した電池と同じ向きで新しいリチウム電池 (CR2025) を入れてください。
- 電池トレイが正しい向き (極性) に挿入されていることを確認ください。

3. 背面カバーを閉じます



リモコン(別売)使用上の注意事項

リモコンのご使用に際しては、「リモコン (別売) についての注意事項」(6ページ)、「使用上のご注意」(7ページ)および本書に記載の注意事項をご覧ください。

MEMO

- 直射日光の下ではリモコンの操作が適切に行えない場合があります。
- リモコンを高温下や直射日光のあたる所で保管しないでください。
- リモコンは、直射日光があたると、正しく動作しなくなることがあります。
- リモコンを車内の床に落とさないでください。ブレーキまたはアクセルペダルの下にはさめることがあります。

⚠ 注意

- 電池は、お子さまの手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医師にご相談ください。
- 電池(電池パックまたは取り付け済み電池)には、直射日光や、火のような過度の熱を与えないでください。
- CR2025 (3V) リチウム電池 (1個) をご使用ください。
- リモコンを1ヶ月以上使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を正しく交換しないと爆発の危険があります。交換する際は、同じもしくは同等タイプの電池のみを使用してください。
- 電池を取り扱う際に、金属製の道具を使わないでください。
- 電池と金属製のものを一緒に保管しないでください。
- 電池が漏れた場合、リモコンをきれいにふき取り、新しい電池を取り付けてください。
- 使用済みの電池を廃棄する際は、お住まいの国や地域で定められた、政府規制および環境関連の公的機関のルールに従ってください。

ステアリングリモコンを使う

本機能は、別売のステアリングリモコン対応接続ケーブルを接続することで、ステアリングリモコン搭載車で使用できます。お乗りのお車に搭載されているステアリングリモコンのスイッチに機能を割り付けることで、車を運転中でもステアリングから手を離さずにオーディオの操作ができます。

⚠ 注意

- 走行中、運転の妨げにならないように十分注意してください。

MEMO

- 一部のステアリングリモコン搭載車には対応していません。
- 本機能をご使用になる場合には、別売のステアリングリモコン対応接続ケーブルを接続する必要があります。ご購入店にご相談のうえお問い合わせください。また、接続は販売店にご依頼ください。詳しくは、同梱の取付説明書をご覧ください。

■ ステアリングリモコンで操作できる機能

VOL UP / VOL DOWN :

- オーディオ音量を調整します。スイッチを長押しすることで、連続調整もできます。

SOURCE :

- 電源をON/OFFします。
 - イグニッションがONのときに押すと、本機の電源が入ります。
 - 本機の電源が入っているときに押し続けると、電源が切れます。
- メインメニュー画面を表示します。
- メインメニュー画面でSOURCEスイッチを押すと順にモード選択状態が移動します。選択状態のまましばらくすると、選択したモード画面になります。

TRACK/CH UP / TRACK/CH DOWN :

- ラジオ/テレビの選局、またはDVD/CDの選曲などに使用します。
- ラジオモードで押すと、登録されている次の/前の放送局に切り替ります。
- ラジオモードやテレビモードで押し続けると、次の/前の放送局にシーク選局します。

基本操作

電源のON/OFF

■ 電源を入れる

イグニッションキーを「ACC」、または「ON」にして、本機に電源を供給します。

1. エンジンをかけます
2. **[PWR]** ボタンを押します

本機に電源が入ります。

オープニング画面が表示された後、現在地地図またはオーディオ画面が表示されます。

リモコン操作

[SRC] ボタンを押すと電源がはいります。

△ 注意

バッテリーあがり防止のため、本機をご使用するとき、エンジンをかけた状態で行ってください。

MEMO

- ・次回、本機を起動したときは現在地地図画面、またはオーディオ画面からはじまります。
- ・盗難防止機能を設定すると、暗証番号入力画面が表示される場合があります。(53ページ)

■ 電源を切る

1. **[PWR]** ボタンを押し続けます

本機の電源が切れます。

リモコン操作

[SRC] ボタンを押し続けると電源が切れます。

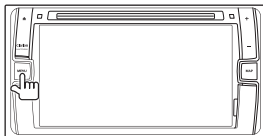
△ 注意

電源を切るときは、音量を最小にしてください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となることがあります。

メインメニュー画面について

■ メインメニュー画面の表示

メインメニュー画面が表示されるまで[MENU] ボタンを押します。



画面のアイコンをタッチすると、ラジオモード、テレビモード、電話モードなど、対応するモードに切り替わります。

■ メインメニュー画面のページ切り替え

本機の操作はフリックオペレーションを採用しています。

1. 画面上をタッチします



2. 左/右にスライドします

メインメニュー画面の前ページ、次ページに切り替わります。

MEMO

操作パネル上の2つの[-]キーをタッチすることでもページを切り替えることができます。

■ 各モード画面の表示

メインメニュー内のアイコンをタッチすると、タッチしたモード画面が表示されます。

メディアが挿入されていないなど、使用できない状態のアイコンは、グレー文字で表示されタッチしても機能しません。



[FM/AM] アイコン

タッチするとラジオモードを表示します。

[ナビゲーション] アイコン

タッチするとナビゲーションモードを表示します。

[電話] アイコン

タッチすると電話モードを表示します。

[Disc] アイコン

タッチするとディスクモードを表示します。挿入しているディスクを再生します。

[iPod] アイコン

タッチするとiPodモードを表示します。

[USB] アイコン

タッチするとUSBモードを表示します。



[SD] アイコン

タッチするとSDモードを表示します。

[Bluetooth Audio] アイコン

タッチするとBluetoothオーディオモードを表示します。

[テレビ] アイコン

タッチするとテレビモードを表示します。

[AUX] アイコン

タッチするとAUXモードを表示します。

[カメラ] アイコン

タッチするとカメラモードを表示します。

[オーディオオフ] アイコン

タッチすると音声オフモードを表示します。

■ 操作バー画面の非表示/表示

1. 各モード画面で、操作バー開キーをタッチすると、操作バー画面が表示されます

☑：操作バー開キー



MEMO

動画再生(テレビ、DVD、SDカード、USBなど)のときは、画面をタッチすると、操作バー画面が表示されます。

1. 操作バー画面で、操作バー開キーをタッチすると、操作バーが非表示となります

☑：操作バー開キー



MEMO

- 操作バーを閉じる設定を[自動]にすると、操作バー画面を表示してから約5秒間、画面をタッチしないと、操作バーが閉じます。
- 操作バー閉じる設定を「手動」に設定した場合でも、モードによっては、自動的に操作バーが表示されます。
- 操作バーを閉じるには☑閉じるキーを押します。

■ カスタム設定画面の表示

画面下部の [Custom] (カスタム) キーをタッチすると、カスタム設定メニューが表示されます。



[設定]

このアイコンをタッチすると、システム設定画面を表示します。(51ページ)

[Beat EQ]

このアイコンをタッチすると、イコライザー設定画面を表示します。[Custom] キー ▶ [設定] アイコン ▶ [サウンド] キー ▶ [Best EQ] 項目からも表示できます。(52ページ)

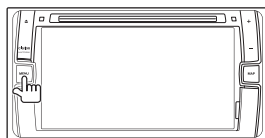
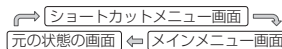
[ショートカット]

このアイコンをタッチすると、ショートカット設定画面を表示します。目的のアイコンを、有効になるまで2秒以上押し続けてから、下の方へドラッグします。名前が下部に表示されます。

- 画面の中心を押したまままたは右にドラッグすると、さらにアイコンが表示されます。
- 合計5つのショートカットを作成できます。

MEMO

- [MENU] ボタンを押すと、ショートカットメニュー画面が表示されます。
- [MENU] ボタンを押すたびに、以下のように画面が切り替わります。



[壁紙]

このアイコンをタッチすると、壁紙設定画面を表示します。[Custom] キー ▶ [設定] アイコン ▶ [全般] キー ▶ [壁紙] 項目からも表示できます。(51ページ)

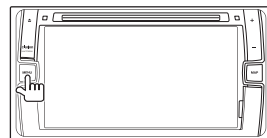
[表示オフ]

このアイコンをタッチすると画面が非表示になります。画面を表示するには、画面をもう1度タッチします。

画面の非表示/表示

■ 画面を非表示にする

1. メインメニュー画面が表示されるまで [MENU] ボタンを押します

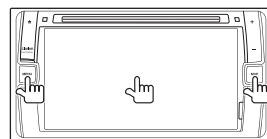


2. [Custom] キー ▶ [表示オフ] アイコンの順にタッチします

画面が非表示になります。

■ 画面を表示する

1. 画面を非表示にした状態で、画面をタッチするか、[MENU] ボタンまたは [MAP] ボタンを押します



画面が表示されます。

MEMO

画面非表示の状態でもエンジンをつけても、次にエンジンをかけたときは地図画面またはオーディオ画面等が表示されます。

オーディオのオフ/オン

■オーディオをオフする

1. [MENU] ボタンを押して、[オーディオオフ] アイコンをタッチします

オーディオオフモードとなり、オーディオ機能はオフし、音楽や映像の音声は出力しくなくなります。



MEMO

- ・オーディオオフモードで、[MAP] ボタンを押すとオーディオオフのナビゲーションモードとなります。
- ・オーディオオフのナビゲーションモードの際には、ナビゲーションの音声案内は出力します。

■オーディオをオンする

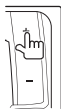
1. [MENU] ボタンを押して、再生したいアイコンをタッチします。

オーディオオフモードが解除され、タッチしたアイコンのモードに切り替わります。

音量を調整する

■音量を大きくする

1. [+] ボタンを押します



音量が大きくなります。

リモコン操作

[+] ボタンを押すと音量が大きくなります。

■音量を小さくする

1. [-] ボタンを押します



音量が小さくなります。

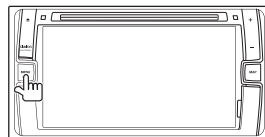
リモコン操作

[-] ボタンを押すと音量が小さくなります。

時計を表示する

設定画面の「時刻」において、時計表示に関する設定が可能です。(51 ページ)

1. メインメニュー画面が表示されるまで [MENU] ボタンを押します



2. [Custom] キー ▶ [設定] アイコンの順にタッチします

3. [時刻] キーをタッチし、目的の設定を行います



4. 設定メニューを終了するには、画面の左下の [戻る] キーをタッチします。

■GPS時間同期

[On] キーをタッチすると、時刻をGPSと同期し、時刻の設定が無効になります。

初期設定は[On]です。

■時刻

[時刻] 項目の右のキーをタッチすると時刻設定メニューが表示されます。[▲] キーまたは[▼] キーをタッチして時間または分を選択します。[決定] キーをタッチして確定するか[戻る] キーをタッチして保存せずに終了します。

■24時間表示

[On] キーをタッチすると24時間表示形式が選択されます。[Off] キーをタッチすると12時間表示形式が選択されます。

初期設定は[On]です。

MEMO

地図画面上での表示は、24時間表示となります。

■時計表示部

設定した時間は、各モード画面上に表示されます。



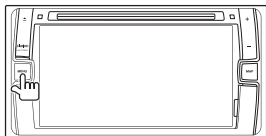
時間表示部



ラジオを聴く

ラジオを選択する

1. メインメニュー画面が表示されるまで [MENU] ボタンを押します



2. [FM/AM] アイコンをタッチします



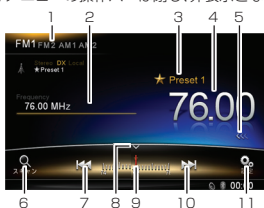
ラジオモード画面が表示され、ラジオを受信します。

MEMO

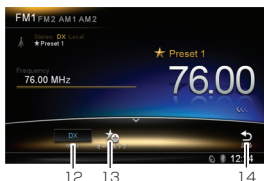
[FM/AM] アイコンが現在のメインメニュー画面にない場合、[FM/AM] アイコンのあるメインメニュー画面に切り替えてタッチします。

ラジオモード画面について

画面中央の操作バー閉キー()をタッチすると、ラジオメニューの操作バーは閉じ、非表示となります。



1. FM1/FM2/AM1/AM2キー
ラジオバンド表示および切り替え
2. 情報エリア
3. プリセット番号
4. 現在の放送局の周波数
5. プリセットリスト表示キー
6. スキャンキー
7. プリセットスキャン
8. 低い周波数へのチューニングキー
タッチ: 低い周波数へ手動チューニング
タッチし続ける: 低い周波数へ自動チューニング
9. 操作バー閉キー
10. 周波数バー
11. 高い周波数へのチューニングキー
タッチ: 高い周波数へ手動チューニング
タッチし続ける: 高い周波数へ自動チューニング
12. 設定キー
設定メニューへ切替



12. Modeキー
受信感度の切り替え
13. オートストアキー
14. 戻るキー
メインのラジオメニューへ戻る



15. 操作バー閉キー

放送局を選局する

放送局の選局のしかたについて説明します。

ラジオバンドの選択

FM1、FM2、AM1、AM2の4つのラジオバンドがあります。

それぞれのラジオバンドは、放送局を6局までプリセットできます。

1. [FM1/FM2/AM1/AM2] キーをタッチし、ラジオバンドを選択します

タッチするたびに、ラジオ受信バンドが次のように変更されます:

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1...



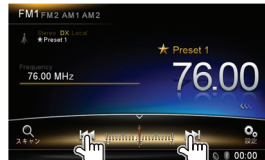
リモコン操作

[BAND] ボタンを押すとラジオバンドが切り替わります。

ステップ選局

周波数は段階的に変えて選局します。

1. ラジオメニューの[]または[]キーをタッチします



より高い、またはより低い周波数に1ステップずつ変化し、選局します。

リモコン操作

[]または[]ボタンを押すとステップ選局ができます。

シーク選局

自動で周波数を切り替え選局します。

1. ラジオメニューの[]または[]キーをタッチし続けます



より高い、またはより低い周波数へ自動で切り替え放送局を探します。

停止するには、上記の操作をもう1度繰り返すか、他のラジオ機能のキーをタッチしてください。

リモコン操作

「[◀▶]」または「[▶▶]」ボタンを押すとシーク選局ができます。

MEMO

放送局を受信すると、シークを停止して放送局の放送が始まります。

■シーク感度切替

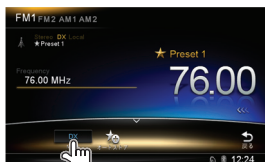
シークの停止感度を切り替えることで、受信信号の強弱に応じた放送局が受信できます。

1. ラジオメニューの [設定] キーをタッチします



操作メニューが設定項目になります

2. [Mode] キーをタッチし、[Local] (強い電波のみ受信) または [DX] (弱い電波も受信) を選択します



MEMO

[Local] にすると、受信できる放送局の数が、減少します。

■プリセットスキャン選局

プリセットスキャンで、現在のメモリーに保存されている放送局を順番に受信します。この機能は、メモリー内にある目的の放送局を検索します。

1. ラジオメニューの [スキャン] キーをタッチします



プリセットされている放送局を順番に受信します。

2. 目的の放送局にチューニングされたら、[停止] キーをタッチします



その放送局を受信した状態で止まります。

■登録した放送局(周波数)から選局する

1. 画面の右端にある「[<<<]」キーをタッチします



プリセット局リストが表示されます。

2. プリセットされた放送局(周波数)をタッチします



タッチした周波数を受信します。

MEMO

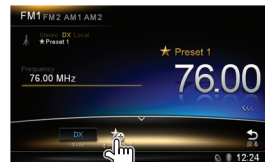
画面の中央近くの「[>>>]」キーをタッチしてプリセット局リストを非表示にします。

放送局を登録する

■自動で登録する(オートストア)

十分な信号強度がある放送局を探知し、FM2またはAM2のラジオバンドに自動で登録(オートストア)する機能です。

1. ラジオメニューの [設定] キー ▶ [オートストア] キーの順にタッチします



確認画面が表示されます。

2. 保存先の間違いがないことを確認し、[決定] キーをタッチします



放送局のスク্যানが開始され、探知した放送局を選択したラジオバンドに登録、保存します。

MEMO

- 自動登録(オートストア)では、FM局はFM2、AM局はAM2のラジオバンドに放送局が登録されます。
- FM2・AM2バンドに登録できる放送局は各6局です。
- オートストアを停止するには、[中止] キーもしくは他のラジオ機能のキーをタッチします。
- オートストアを行うと、以前登録した放送局は上書きされます。

■ 手で登録する(手動ストア)

放送局を手動で保存します。

1. [FM1/FM2/AM1/AM2]をタッチして、保存したいラジオバンドを選択します



リモコン操作

[BAND] ボタンを押しラジオバンドが選択します。

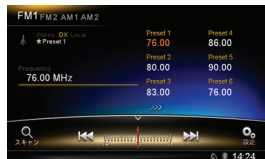
2. ステップ選局(18ページ)/シーク選局(18ページ)/プリセット選局(19ページ)などを使用して、保存したい放送局を選局します

3. 画面の右の現在の選局表示または[<<<]キーをタッチします



プリセット局リストが表示されます。

4. 保存したいプリセットキーを、タッチし続けます



選局した放送局の周波数がタッチしたプリセットに保存されます。

MEMO

- 手動登録(手動ストア)では、FM1、FM2、AM1、AM2の4つのラジオバンドに放送局を登録することができます。
- 各バンドに登録できる放送局は各6局です。合計24局を登録することができます。

本機では、地上デジタル放送のテレビをお楽しみいただけます。

警告

- 運転者がテレビを観るときは、必ず安全な場所に停車させてください。
- 本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。

MEMO

- 地上デジタル放送を受信するには、受信用アンテナが必要です。
- 本機は地上デジタル12セグ放送とワンセグ放送の自動切り替え機能を備えています。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的にワンセグ放送に切り替えられます。(23ページ)
- 地上デジタル放送受信時に(主に弱電界)画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また画像が一時的に止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。
- テレビの映像はリアモニターで観ることはできません。

テレビを観る前に

お願い

テレビを視聴するには、「mini B-CASカード」を本機に装着する必要があります。以下の説明・装着手順をご覧ください。付属のmini B-CASカードを本機に正しく装着してください。

■ mini B-CASカードについて

mini B-CASカードは、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。地上デジタル放送では、このmini B-CASカードがセットされていないと放送をご覧になれません。地上デジタル放送を視聴するときは、必ず本機にmini B-CASカードを入れてください。

MEMO

mini B-CASカードは本機に付属のものを使用してください。

■ mini B-CASカード使用上の注意事項

mini B-CASカードのご使用に際しては、使用上の注意事項「mini B-CASカードについて」(7ページ)をご覧ください。

■ mini B-CASカードを台紙から取る

mini B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身で「パッケージ」を開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点

で、カード台紙に記載の「B-CASカード利用許諾契約約款」を締結したことになります。

mini B-CASカードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。

MEMO

- mini B-CASカードに関する内容の問い合わせや、カードを紛失された場合は、下記の問い合わせ先へ連絡してください。
- 株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL:0570-000-250(AM10:00~PM8:00)(年中無休)
- お問い合わせ時にmini B-CASカードのID(識別)番号が必要となる場合があります。あらかじめカードのID番号は控えておいてください。(24ページ)

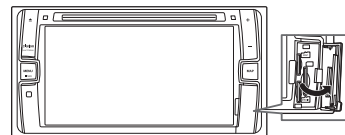
■ mini B-CASカードのセット

MEMO

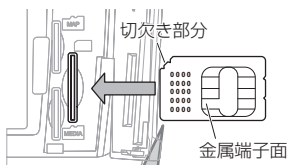
- mini B-CASカードの抜き差しは、必ずエンジン切った状態で行ってください。
- 故障の原因となりますので、カード挿入口に mini B-CASカード以外のものを挿入しないでください。

1. エンジン切ります

2. カバーを開きます



3. 金属端子面を左側、切欠き部を奥上側の向きにして、mini B-CASカードをカード挿入口に挿入します



注意

- mini B-CASカードは、正しい向きに挿入してください。正しい向きに挿入しないと、mini B-CASカードが破損するなど故障の原因となります。
- mini B-CASカードは必ず奥に突き当たるまで差し込んでください。([カチッ]と音がするまで差し込みます。)
- [カチッ]と音がする位置まで差し込まないで使用すると正常に動作しなくなったり、カバーを閉じるときに、mini B-CASカードとぶつかり破損する恐れがあります。必ずお守りください。

4. カバーを閉じます

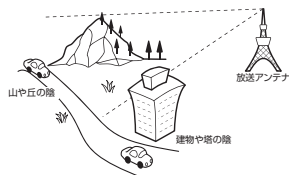
MEMO

mini B-CASカードを抜く場合は、エンジンを切り、カバーを開け、mini B-CASカードを指先でカチッと音がするまで押して離します。その後、指先でカードをしっかりとつまんで手前に抜き取ります。カードや本体を傷つけないよう静かに抜いてください。

■ テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

- 車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
- 放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
- 電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。



はじめてテレビを観るときは

お願い

はじめて地上デジタルテレビを観るときは、地域で受信できる放送局を探して、本機に記憶させる必要があります。以下の手順にて、チャンネルスキャン(放送局の自動記憶)を行ってから、テレビ放送をお楽しみください。

■ チャンネルスキャン

1. メインメニュー画面が表示されるまで [MENU] ボタンを押します

2. [テレビ] アイコンをタッチします



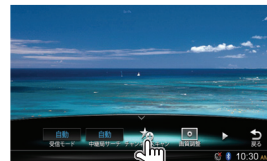
3. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

4. [設定] キーをタッチします



5. [チャンネルスキャン] キーをタッチします

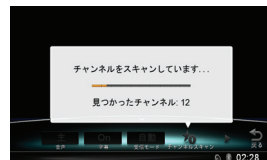


チャンネルスキャン決定のポップアップ画面が表示されます。

6. [決定] キーをタッチします

チャンネルスキャンが開始され、受信できる放送局を探して登録されます。

終了するまでしばらくお待ちください。



チャンネルスキャンが終了すると、テレビ画面に切り替わります。

MEMO

「チャンネルスキャン」機能を使って受信可能なチャンネルをストアし直すことができます。

チャンネルリストについて

チャンネルスキャン終了後、本機のチャンネルリスト(選局ポジション: 1~12)には、受信可能なチャンネルが設定されます。

設定されるリストは、チャンネルスキャンを実施した地域(お住まいの地域)に対応した放送局名となります。

東京の例	大阪の例
1 NHK総合・東京	1 NHK総合・大阪
2 NHK教育・東京	2 NHK教育・大阪
3 放送なし(割り当てなし)	3 放送なし(割り当てなし)
4 日本テレビ	4 MBS毎日放送
5 テレビ朝日	5 放送なし(割り当てなし)
6 TBS	6 ABCテレビ
7 テレビ東京	7 テレビ大阪
8 フジテレビ	8 関西テレビ
9 東京MXテレビ	9 放送なし(割り当てなし)
10 放送なし(割り当てなし)	10 読売テレビ
11 放送なし(割り当てなし)	11 放送なし(割り当てなし)
12 放送大学	12 放送なし(割り当てなし)

上記は、受信状態の一例です。お住まいの地域や、スキャン時の電波の強弱などの諸条件によって、受信結果が異なる場合があります。

MEMO

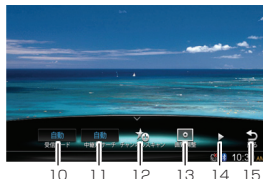
- チャンネルスキャンを実施した地域によっては、複数の各地域向け放送局の電波が受信出来る場合があります。
- 割り当てする選局ポジションが同じ、複数の局を受信した場合、1局のみが指定のチャンネルに設定されます。
- そのほかの放送局は、割り当てのない空きチャンネルに自動的に振り当てられます。
- その場合で、1~12まで、すべて割り当てられていた場合、13以降に割り当てられます。
- 割り当てのなしの場合は、空欄で表示されます。

テレビメニューについて

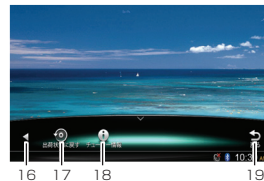
テレビモードで画面をタッチすると、操作バーのテレビメニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。



1. 番組表キー
 2. チャンネルダウンキー
 3. チャンネルアップキー
 4. 操作バー閉キー
 5. 主/副音声の切替キー
 6. 字幕切替キー
 7. クイックサーチキー
 8. リストキー
 9. 設定キー
- チャンネルリストを表示します。
- 設定メニューへ切り替え



10. 受信モード切替キー
 11. 中継局サーチキー
 12. チャンネルスキャンキー
 13. 画質調整キー
 14. 設定メニュー切替キー
 15. 戻るキー
- メインのテレビメニューへ戻る

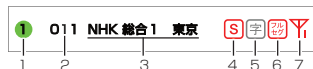


16. 設定メニュー切替キー
17. 出荷状態に戻すキー
18. チューナー情報キー
19. 戻るキー

メインのテレビメニューへ戻る

チャンネル情報を表示する

テレビ受信中、画面をタッチすると、受信中のチャンネル番号や、受信モード等が画面上部に表示します。



1. リモコンの番号
 2. 放送局、マルチ編成番組番号
 3. 放送局名
 4. 音声放送モードの表示
 5. 字幕放送モード、字幕表示モード
 6. 受信モードの表示
 7. 受信電波の強度表示
- S:ステレオ放送
M:モノラル放送
多:音声多重放送
主:主音声
副:副音声
- 字(灰色):字幕放送無し
字(黒色):字幕放送あり、字幕設定OFF
字(赤色):字幕放送あり、字幕設定ON

テレビの選局をする

現在観ている画面から、ほかのチャンネルに切り替えられます。

■チャンネルリストから選局する

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [リスト] キーをタッチします



3. 表示されたチャンネルリストから受信したい放送局をタッチします



選局したチャンネルを受信します。

MEMO

画面右のテレビ画像をタッチするとテレビ画面に戻ります。

■チャンネル番号を入力して選局する

リモコン操作

チャンネルを直接入力して選局するには、リモコンで操作します。操作方法は以下のとおりです。

1. リモコンの[1]から[0]のボタンを使用して1chから12chまでの局を選択します

■サーチキーで選局する

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [◀◀]または[▶▶] キーをタッチします



チャンネルスキャンで登録されたチャンネルのアップまたはダウン選局を行います

MEMO

マルチ編成の放送があった場合は、サーチキーのアップダウンでのみ選局できます。

■マルチ編成の番組選局について

地上デジタル放送では、一つのチャンネルで、2種類又は3種類の番組が放送されている事があります。

チャンネルリストからチャンネルを選局するとサブ1の番組が選局されます。サブ2またはサブ3の番組を選択するには、テレビメニューで[▶▶] キーをタッチすることでサブチャンネルが切り替わり選局できます。

■受信可能な中継局を探す

走行中に受信電波が悪くなった場合など、中継局を探して切り替えることができます。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [クイックサーチ] キーをタッチします

走行エリア内で、受信状態の良い中継局を探し切り替えます。

異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局を自動で探し出して受信できます。(23ページ)

■中継局を自動で探す

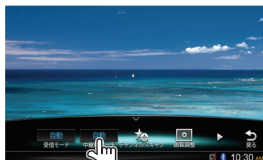
受信電波が弱く映りが悪いときなど、受信状況に応じて最適な中継局を自動的にサーチする、しないを設定します。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [設定] キーをタッチします

3. [中継局サーチ] キーをタッチし項目を選択します



OFF:

放送局の自動サーチを行いません。

自動:

約15秒間連続して受信なしと判断すると中継局サーチを開始します。

MEMO

- ・中継局サーチ

受信中の放送局が複数のチャンネル(中継局)を使って放送している場合、受信状態の最適なチャンネルを探して観ることができます。移動などにより、受信している番組が見つづらくなった時などにご使用ください。

- ・初期設定は[OFF]です。

- ・[OFF]設定の場合でも、[クイックサーチ]をタッチすることにより強制的に中継局サーチを開始することができます。

テレビの便利な機能を利用する

■番組表を見る

現在受信中の番組表を表示します。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [番組表] キーをタッチします

現在受信中チャンネルの番組表一覧が表示されます。

3. [UP]または[DOWN] キーで番組表をスクロールして詳細内容を見たい番組をタッチします

詳細情報が表示されます

4. 確認後は[戻る] キーをタッチします

MEMO

- ・番組表を表示中は、音声がありません。

- ・走行中は、本操作を行えません。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送でフルセグとワンセグ共通の各種設定・編集ができます。

■ワンセグ/フルセグの切り替え設定をする

本機の地上デジタルTVチューナーは、フルセグ放送受信時に電波が弱くなった場合、フルセグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。

「自動」に設定中は、フルセグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。

また、ワンセグ/フルセグのみ受信することでもできます。

MEMO

- ・ワンセグ放送の受信感度が悪い場合やフルセグで視聴していたチャンネルにワンセグ放送がない場合には、自動的に切り替わりません。
- ・放送局によっては、フルセグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [設定] キーをタッチします

3. [受信モード] キーをタッチして項目を選択します



自動:

フルセグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えます。

フルセグ:

フルセグ放送を受信します。

ワンセグ：

ワンセグ放送を受信します。

MEMO

- 初期設定は[自動]です。
- [フルセグ]に設定中、電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、画像が映らなくなります。

■二重音声を切り替える

主音声／副音声がある番組で、音声を切り替えます。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [音声] キーをタッチして項目を選択します

主音声 (M)、副音声 (S) から選択します。

MEMO

- 初期設定は[主音声]です。
- 副音声の状態ではほかのチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声が放送されていればそのまま継続されます。

■字幕表示を切り替える

字幕のついた番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。

本機では第一言語のみ表示できます。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [字幕] キーをタッチして項目を選択します

ON (ON)、OFF (OFF) から選択します。

MEMO

初期設定は[OFF] (非表示) です。

■mini B-CASカード情報を確認する

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [設定] キーをタッチします

3. [▶] キーをタッチします

次ページのメニューが表示されます。

4. [チューナー情報] キーをタッチします

mini B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

同時にチューナーのバージョン番号も表示されます。

■テレビの設定情報を初期化する

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [設定] キーをタッチします

3. [▶] キーをタッチします

次ページのメニューが表示されます。

4. [出荷状態に戻す] キーをタッチします

5. [決定] キーをタッチします

設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化します。

MEMO

- 初期化メッセージ表示中には、エンジンを切らないでください。初期化中にエンジンを切った場合、初期化できないことがあります。
- 出荷状態に戻したときは、必ずチャンネルスキャンを行ってください。

■テレビの画質を調整する

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

3. [画質調整] キーをタッチします

画質調整画面が表示されます。

4. 「ディーマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を調整し、画面をタッチします

調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

リモコン操作

- [PIC] ボタンを押すと画質調整のポップアップ画面が表示されます。
- [▲]または[▼] ボタンを押し、「ディーマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を選択し、[▶]または[◀] ボタンを押し値を調整します。
- 最後に[PIC] ボタンを押すと調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

Discについて

再生できるディスクとファイル

本機では、以下のマークのある市販ディスクとメディアファイルを再生できます。



再生できるDVD/再生できないDVD

本機で再生できるDVDは○がついたディスクだけです。

ディスク	再生可否	再生できる条件など
市販のDVDビデオ	○	リージョン番号が「ALL」と「2」、または「2を含む」ディスクが再生できます。
DVD-R, DVD-RW	○	以下のディスクが再生できます。 • DVDビデオモードで録画したディスク
DVD+R, DVD+RW	○	• 「本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」(10ページ)記載のファイル形式で記録したディスク
DVD-R DL, DVD+R DL	○	但し、以下のディスクは再生できません • バケットライト方式で録画されたディスク • ご家庭でハイビジョン録画したディスク • DVD-VRモード(CPRM対応)で録画したディスク
DVD-ROM	X	
DVDオーディオ	X	
DVD-RAM	X	

○:再生できます。(条件つき再生を含む) X:再生できません。

再生できるCD/再生できないCD

本機で再生できるCDは○がついたディスクだけです。

ディスク	再生可否	再生できる条件など
市販の音楽CD	○	
市販のCD-TEXT	○	
CD-R	○	以下のディスクが再生できます • MP3/WMAのファイル形式で記録したディスク
CD-RW	○	但し以下のディスクは再生できません • バケットライト方式で記録されたディスク
CD-ROM	X	
CD-Extra	○	オーディオセッションのみ再生できます。Dataセッションが2セッション以上記録されている個人が作成したディスクは再生できません
HDCD	○	通常の音楽CDの音質で再生します。
Super Audio CD	○	CD層のみ再生可能
8cm CD	X	
コピーガード付きCD	X	
DTS CD	X	
ビデオCD	X	
MIX MODE CD	X	
CCCD	X	
フォトCD	X	
デュアルディスク	X	

○:再生できます。(条件つき再生を含む) X:再生できません。

MEMO

- ファイナライズ処理されていない「CD-R」「CD-RW」ディスクは、再生するまでの時間が長くなります。また、記録状態によっては再生できない場合もあります。
- ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフト、レコーダーのマニュアルをご覧ください。
- ノンストップで記録された音楽CD/CD-TEXTの場合、曲間でミュートされることがあります。
- 傷がついているディスク、ソリが大きいディスク、汚れ/ほこりが付着しているディスクは、再生できない場合もあります。

使用できないディスク/アクセサリ

⚠ 注意

下記のディスクは取り出せなくなる恐れがありますのでご使用しないでください。

- 8cm CD/8cm CD アダプター
- 異型ディスク (カード型・ハート型など)
- デュアルディスク (Dual Disc)
- ラベル、テープ、保護シートなどを貼り付けたディスク、保護シートを装着したディスク

MEMO

リージョン番号について

- DVDディスクとDVDプレイヤーには、発売地域ごとにリージョン番号が割り当てられています。
- 日本で再生できるリージョン番号は、「ALL」と「2」、または「2を含む」ディスクだけです。

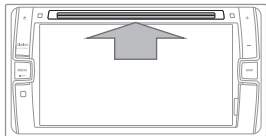
MEMO

- ファイナライズ処理されていない「DVD-R, DVD-RW」「DVD+R, DVD+RW」「DVD-R DL, DVD+R DL」ディスクは再生できません。
- ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフト、レコーダーのマニュアルをご覧ください。
- 「DVD-R, DVD-RW」「DVD+R, DVD+RW」「DVD-R DL, DVD+R DL」ディスクは記録状態によって再生できない場合があります。
- 傷がついているディスク、ソリが大きいディスク、汚れ/ほこりが付着しているディスクは、再生できない場合もあります。

ディスクの挿入と取り出し

■ディスクの挿入

1. ディスクラベル面を上にして、ディスク挿入口の中央に挿入します



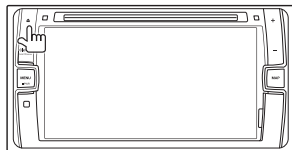
ディスクがロードされ、自動的に再生されます。

△ 注意

- 安全のため、運転者は走行中にディスクの挿入や取り出し、その他の操作を行わないでください。
- ディスク挿入口に異物を入れないでください。
- ディスクが挿入しにくい場合は、本機の中にすでに他のディスクが入っている可能性があります。または、本機が故障している可能性があります。
- 一部のDVDは、想定以上の大きな音量で収録されているものがあります。音量は、再生開始後に、小さな音量から徐々にあげてください。

■ディスクの取り出し

1. [▲] ボタンを押します



ACC OFF後約1分間はACCがOFFの状態でも、ディスクがイジェクトされます。

ディスクを取り出すと、ラジオモード画面に切り替わります。

取り出したディスクを15秒間そのままにしておくと、自動的にディスクが挿入口に引き込まれます（オートリロード機能）。この場合、画面はラジオモード画面のままとなります。

MEMO

- オートリロード前に無理にディスクを押し込むと、ディスク表面に傷がつく場合があります。
- ディスクが損傷しないよう、ディスクが排出された後から取り出すようにしてください。

本機は、DVDの高画質・高音質を再現できます。
本機のDVD機能は、DVD-Videoに対応しています。

DVD機能について

本機は、以下のDVD機能に対応しております。

MEMO

- 以下に説明するマルチ音声言語、サブタイトル、アングルなどは、DVDによって異なります。
- 詳しくは、DVDの説明書をご覧ください。
- 一部のディスク機能は本書の説明とは異なる動作となる場合があります。

■マルチ音声言語機能

DVDは、1本の映画の中に最大8つの言語を収録できますので、お好みの言語で映画を見ることができます。

- ディスクに記録されている音声数は、以下のようなアイコンで示されます。



■マルチアングル機能

DVDに複数のアングル(角度)で撮影された映画が収録されている場合、お好みのアングルで映画を見ることができます。

- ディスクに記録されているアングル数は、以下のようなアイコンで示されます。



■サブタイトル（字幕言語）機能

DVDは、1本の映画の中に最大32ヶ国語の字幕言語を収録できますので、お好みの字幕言語で映画を見ることができます。

- ディスクに記録されている字幕言語数は、以下のようなアイコンで示されます。



■マルチストーリー機能

DVDに複数のストーリーが収録されている場合、お好みのストーリーを楽しむことができます。操作方法はディスクによって異なります。再生時に表示されるストーリー選択方法に従って操作をしてください。

DVDを再生する

ディスクの挿入/ディスクの取り出しについては、「ディスクの挿入と取り出し(26ページ)」をご覧ください。

1. ディスク挿入口にDVDを入れます

自動的にDVDモード画面になり再生が始まります。

2. ディスクがすでに入っている場合は、メインメニュー画面の[Disc] アイコンをタッチすると、DVDモードになり再生が始まります。

△ 警告

- 安全のため、運転者は走行中にディスクの挿入や取り出し、その他の操作を行わないでください。
- 運転者がDVDの映像を見る時は、必ず安全な場所に停車させてください。
- 安全のため本機は停車時のみDVDの映像をご覧いただけます。走行中は音声のみお楽しみください。
- 一部のDVDは、想定以上の大きな音量で収録されているものがあります。音量は、再生開始後に、小さな音量から徐々にあげてください。

DVDメニューについて

DVD再生時に画面をタッチすると、操作バーのDVDメニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。



1. ブレイク/ポーズキー
2. メニュー操作キーの表示キー/十字カーソルキーメニュー操作キーを表示します。各種選択の十字カーソルキーとして使用します。

3. 前のトラック/早戻しキー

タッチ: 前のトラックへタッチし続ける: 早戻し

4. 操作バー閉キー

5. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間

6. 次のトラック/早送りキー

タッチ: 次のトラックへタッチし続ける: 早送り

7. DVDタイトルメニュー

8. 設定キー
設定メニューへ切り替え



9. リピート再生切替キー

10. 音声言語切替キー

11. 字幕言語切替キー

12. アンクル切替キー

13. 設定メニュー切替キー

14. 戻るキー

メインのDVDメニューへ戻る



15. 設定メニュー切替キー

16. ワイドスクリーン切替キー

17. チャプター/タイトルダイレクト検索キー

18. 画質調整キー

19. 情報キー

DVDメニューを使う

DVDメニューの操作方法について説明します。

■再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[II] キーをタッチします

2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に[▶/II] ボタンを押すと一時停止します。
[▶/II] ボタンをもう一度押すと再生を再開します。

■チャプターをスキップする (検索)

1. 再生中に[◀◀]または[▶▶] キーをタッチします

タッチした回数分、チャプターが前方向に/後方向にスキップされ、再生が開始されます。

リモコン操作

再生中に[◀◀]または[▶▶] ボタンを押すとタッチした回数分、チャプターが前方向に/後方向にスキップし再生します。

■早送り/早戻しをする

1. 再生中に、[◀◀]または[▶▶] キーをタッチし続けます

早送り/早戻しが開始します。

リモコン操作

再生中に[◀◀]または[▶▶] ボタンを押すと、早送り/早戻しします。

MEMO

- タッチし続けている間に再生速度は2倍から4倍、8倍、20倍になります。
- タッチをやめると、通常の再生に戻ります。
- 早送り/早戻しを行っている間は、無音となります。
- 早送り/早戻しの速度は、ディスクによって異なる場合があります。

■再生を停止する

1. 再生中に停止するには、[III] キーをタッチし続けます

2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に、[▶/II] / [■] ボタンを押し続けると停止します。停止中に、[▶/II] ボタンを押すと停止したところから再生します。

■チャプター番号/タイトル番号で再生する

DVDディスク上に記録されたチャプター番号/タイトル番号を使用して、シーンを再生することができます。

1. [設定] キーをタッチします

設定画面が表示されます。

2. [▶] キーをタッチします

次のページが表示されます。

3. [サーチ] キーをタッチします

10キー入力画面が表示され、チャプター番号/タイトル番号の入力モードになります。

4. チャプター番号を入力する場合は[Chapter] キー、タイトル番号を入力する場合は[Title] キーをタッチします

MEMO

- 初期設定は[Chapter]です。
- Chapter ディスクのデータ領域を分けるための小さな区切りです。
- Title ディスクのデータ領域を分けるための大きな区切りです。

5. 再生したいチャプター番号/タイトル番号を10キー([0]から[9])で入力します

6. [決定] キーをタッチします

入力したチャプター番号/タイトル番号のシーンから再生が開始されます。



MEMO

入力したチャプター番号/タイトル番号がディスク上に存在しない場合、またはチャプター番号/タイトル番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。

リモコン操作

[SRCH] ボタンを押すと「0」キー入力画面が表示されます。チャプター番号/タイトル番号の入力モードになるため、本機にて上記の手順4以降の操作を行います。

■リピート再生をする

DVDに記録されたチャプターを、以下の操作で繰り返し再生することができます。

1. [設定] キーをタッチします

設定画面が表示されます。

2. [リピート] キーをタッチします

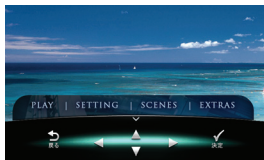
タッチする度にリピートオフ、チャプターリピート、タイトルリピートの順に切り替わります。

リモコン操作

再生中に[RPT] ボタンを押すたびにリピートオフ、チャプターリピート、タイトルリピートの順に切り替わります。

■タイトルメニューを使う

2つ以上のタイトルが収録されているDVDディスクの場合、再生するタイトルをタイトルメニューから選択することができます。



1. 再生中に[メニュー] キーをタッチします

- ・タイトルメニューが表示されます。
- ・タイトルメニューが表示されないディスクもあります。

2. [キー表示] キーをタッチします

方向キーが表示されます。

3. [◀][▶][▲][▼]方向キーを使用して、タイトルメニューの項目を選択します

方向キーでは項目を選択できないディスクもあります。

4. [決定] キーをタッチします

選択した項目が再生されます。

リモコン操作

再生中に[◀][▶][▲][▼]方向ボタンを使用して、タイトルメニューの項目を選択し、[ENT] ボタンを押すと選択した項目が再生されます。

■音声を切り替える

ディスクに2種類以上の音声または音声言語が収録されている場合、再生中に音声を切り替えることができます。

1. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. [音声] キーをタッチします

タッチするたびに、音声切り替わります。

リモコン操作

再生中に[AUDIO]ボタンを押すたびに、音声切り替わります。

MEMO

- ・音声の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ・ディスクによっては、最大8種類の音声があります。詳しくはディスクのマーク (Ⓢ)：音声8種類の場合をご覧ください。
- ・電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、本機の工場出荷時に設定された言語になります。またその言語が収録されていない場合には、ディスク側で決められた言語になります。
- ・ディスクによっては音声が多すぎて切り替えられない場合や、音声切り替えられないシーンがあります。

■字幕言語を切り替える

ディスクに2種類以上の字幕言語が収録されている場合、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. [字幕] キーをタッチします

タッチするたびに、字幕言語が切り替わります。

- ・字幕言語の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ・ディスクによっては、最大32種類の字幕言語が収録されています。詳しくはディスクのマーク (Ⓢ)：字幕言語8種類の場合をご覧ください。
- ・ディスクによっては字幕言語が多すぎて切り替えられない場合や、字幕言語切り替えられないシーンがあります。

3. 字幕言語を表示しない場合は、字幕言語が表示されなくなるまで[字幕] キーのタッチを繰り返します

リモコン操作

再生中に[SUB.T]ボタンを押すたびに、字幕言語が切り替わります。

■ アングルの切り替える

ディスク内の映像に2種類以上のアングルが収録されている場合、再生中にアングルの切り替えることができます。

1. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. [Angle] キーをタッチします

3. タッチするたびに、Angleが切り替わります

リモコン操作

再生中に[ANGLE]ボタンを押すたびに、アングルが切り替わります。

MEMO

- アングルの切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては、最大9種類のアングルが収録されています。詳しくはディスクのマーク(図)：アングルが2種類の場合)をご覧ください。
- ディスクにより、スムーズに切り替わるものと、切り替えの際に一瞬静止画が表示されるものがあります。
- ディスクによってはアングルがまったく切り替えられない場合や、アングルが切り替えられないシーンがあります。
- ディスクによっては、2種類以上のアングルで収録されたシーンが再生されることがあります。

■ 再生中の情報を表示する

DVD操作バー画面で[情報]をタッチすると、DVD再生ステータスが画面に表示されます。

1. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. [▶] キーをタッチします

次のページが表示されます。

3. [情報] キーをタッチします

再生ステータスが表示されます。

■ 画質を調整する

1. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. [▶] キーをタッチします

次のページが表示されます。

3. [画質調整] キーをタッチします

画質調整画面が表示されます。

4. 「ディマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を調整し、画面をタッチします

調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

リモコン操作

1. [PIC] ボタンを押すと画質調整のポップアップ画面が表示されます。
2. [▲]または[▼] ボタンを押し、「ディマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を選択し、[▶]または[◀]ボタンを押し値を調整します。
3. 最後に[PIC] ボタンを押すと調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

動画ファイルを再生する(MP4/DivXなど)

本機は、ディスクに保存された動画ファイル(MP4/DivXなど)を再生することができます。

ディスクの挿入/ディスクの取り出しについては、「ディスクの挿入と取り出し」(26ページ)をご覧ください。

1. ディスク挿入口にDVDを入れます

自動的にDVDモードになり再生が始まります。

2. ディスクがすでに入っているときは、メインメニュー画面の[Disc] アイコンをタッチするとDVDモードになり再生が始まります

ディスク動画メニュー(MP4/DivXなど)について

ディスク動画モードで再生時に画面をタッチすると操作バーのディスク動画メニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。



1. プレイ/ポーズキー
2. リピート再生キー
3. 前のトラック/早戻しキー
タッチ:前のトラックへ
タッチし続ける:早戻し
4. 操作/バー閉キー
5. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
6. 次のトラック/早送りキー
タッチ:次のトラックへ
タッチし続ける:早送り
7. 停止/リストキー
8. 設定キー
設定メニューへ切り替え



9. 音声言語切替キー
10. 字幕言語切替キー
11. ワイドスクリーン切替キー
12. 画質調整キー
13. 情報キー
14. 戻るキー
メインのディスク動画メニューへ戻る

ディスク動画メニュー(MP4/DivXなど)を使う

ディスク動画メニューの操作方法について説明します。

■再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[⏏] キーをタッチします
2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に[▶/⏏] ボタンを押すと一時停止します。
[▶/⏏] ボタンをもう一度押すと再生を再開します。

■前の/次のファイルに切り替える

1. 再生中に[◀]または[▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に[◀]または[▶] ボタンを押すと、前の/次のファイルに切り替わります。

■早送り/早戻しをする

1. 再生中に、[◀◀]または[▶▶] キーをタッチし続けます

早送り/早戻しが開始します。

リモコン操作

- 再生中に[◀◀]または[▶▶] ボタンを押すと、早送り/早戻しします。
- 押すたびに再生速度が2倍から4倍、8倍、20倍に切り替わります。

MEMO

- タッチし続けている間に再生速度は2倍から4倍、8倍、20倍になります。
- タッチをやめると、通常の再生に戻ります。
- 早送り/早戻しを行っている間は、音が出ません。
- 早送り/早戻しの速度は、ディスクによって異なる場合があります。

■再生を停止する

1. 再生中に[■] キーをタッチします
再生が停止し、リスト画面が表示されます。
2. 再生を再開するには、リスト画面右側のフィルム形のをした画像をタッチします。
停止したところから再生します。

リモコン操作

再生中に、[▶/■] / [■] ボタンを押し続けると停止します。停止中に、[▶/■] ボタンを押すと停止したところから再生します。

■リピート再生をする

DVDに保存された動画ファイルを、以下の操作で繰り返し再生することができます。
初期設定では、フォルダのリピート再生が設定されています。

1. [リピート] キーをタッチします

タッチするたびに1トラックリピート、1フォルダリピート、全リピートの順に切り替わります。

リモコン操作

再生中に[RPT] ボタンを押すたびに1トラックリピート、1フォルダリピート、全リピートの順に切り替わります。

■音声を切り替える

動画ファイルに2種類以上の音声チャンネルが保存されている場合、再生中に音声チャンネルを切り替えることができます。

1. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. [音声] キーをタッチします

タッチするたびに、音声切り替わります。

リモコン操作

再生中に[AUDIO] ボタンを押すたびに音声切り替わります。

MEMO

- 音声の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては音声が多すぎて切り替えられない場合があります。

■字幕言語を切り替える

動画ファイルに2種類以上の字幕言語が収録されている場合、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. [字幕] キーをタッチします

タッチするたびに、字幕言語が切り替わります。

リモコン操作

再生中に[SUB.T] ボタンを押すたびに、字幕言語が切り替わります。

MEMO

- 字幕言語の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては字幕言語が多すぎて切り替えられない場合があります。

■映像サイズを切り替える

スクリーンに映し出される縦横比のサイズを切り替えます。

- On..... 16:9の横長サイズ
- Off..... 4:3の標準サイズ

1. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. [ワイドスクリーン] キーをタッチします

タッチするたびに、ワイドスクリーンのOn/Offが切り替わります。

■画質を調整する

1. [設定] キーをタッチします
設定メニューが表示されます。
2. [画質調整] キーをタッチします
画質調整画面が表示されます。
3. 「ディマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を調整し、画面をタッチします
調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

リモコン操作

1. [PIC] ボタンを押すと画質調整のポップアップ画面が表示されます。
2. [▲]または[▼] ボタンを押し、「ディマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を選択し、[▶]または[◀]ボタンを押し値を調整します。
3. 最後に[PIC] ボタンを押すと調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

■再生中のデータの情報を表示する

再生中データのステータスを表示します。

1. [設定] キーをタッチします
設定メニューが表示されます。
2. [情報] キーをタッチします
再生ステータスが表示されます。

■Audio/Videoフォルダの切替

ビデオからオーディオへの切替

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします
動画ファイルの再生が停止します。
2. 画面左上の[Audio] キーをタッチします
オーディオフォルダが表示されます。

オーディオからビデオへの切替

1. 画面左上の[Video] キーをタッチします
ビデオフォルダが表示されます。

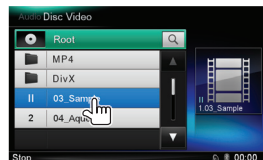
■リスト表示からトラックを選択する

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします
フォルダ/ファイルリストが表示されます。

MEMO

リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。停止した箇所から再生が再開されます。

2. 再生したいフォルダをタッチします



選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

MEMO

再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)、もしくは右側の[▼]または[▲] キーをタッチしリストを切り替えます。

3. 再生したいトラックをタッチします

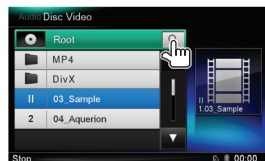
選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する

ディスクに記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

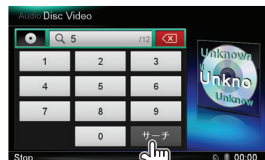
1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします
フォルダ/ファイルリストが表示されます。

2. [Q] キーをタッチします



3. 再生したいトラック番号を10キー([0]から[9])で入力します

4. [サーチ] キーをタッチします



入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[▶] キーをタッチします。

購入したDivX動画の再生

購入したDivX形式の動画ファイルを本機で再生する場合、本機の認証コードを使用して一度だけ登録手続きを行なう必要があります。

自作またはダウンロードした無料のDivX動画を再生する場合には登録手続きは不要です。

お知らせ

プレミアムコンテンツを含むDivXビデオ再生対応のDivX Certified®(DivX認証)取得済み。

■ 認証コード取得と登録手続き

1. メインメニュー画面右下の[Custom] キーをタッチし、[設定] アイコンをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. 画面左の[設定] キーを選択し、DivX®の[設定] キーをタッチし、[認証コード]の右にある[表示] キーをタッチします



- DivXの認証コードが表示されます。
- 取得した認証コードを使用してお使いのパソコンから機種の登録を行います。

3. [Done]キーをタッチします

画面が閉じます。

■ 登録解除

購入した動画を本機で再生しない場合は、本機の登録を解除することができます。上記の手順2まで行い、続いて下記の操作を行います。

1. [登録解除]の右にある[設定] キーをタッチし、次の画面の[はい] キーをタッチします



2. 表示される[10ケタの登録解除コード]をメモします

3. 取得した登録解除コードを使用してお使いのパソコンから機種の登録解除を行ないます

■ 登録・登録解除に関して

詳しくは<http://vod.divx.com> を参照ください。

CDを再生する

ディスクの挿入/ディスクの取り出しについては、「ディスクの挿入と取り出し(26ページ)」をご覧ください。

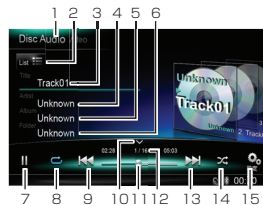
1. ディスク挿入口にCDを入れます

自動的にCDモード画面になり再生が始まります。

2. ディスクがすでに入っている場合は、メインメニュー画面の[Disc] アイコンをタッチするとCDモード画面になり再生が始まります

CDメニューについて

画面中央の操作バー閉キー()をタッチすると、CDメニューの操作バーは閉じ、非表示となります。



1. AudioとVideoの切替キー
2. リスト表示切替キー
3. Title：再生中の曲のタイトル
4. Artist：再生中の曲のアーティスト
5. Album：再生中の曲のアルバム
6. Folder：再生中の曲のフォルダ
7. プレイ/ポーズキー
8. リピートキー
全リピート / 1トラックリピートの切替
9. 前のトラック/早戻しキー
タッチ：前のトラックへ
タッチし続ける：早戻し(4倍速)
10. 操作バー閉キー

11. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
12. 現在のトラック / トラック全部の数
13. 次のトラック/早送りキー
タッチ：次のトラックへ
タッチし続ける：早送り(4倍速)
14. ランダムキー
ランダムオン / オフの切り替え
15. 設定キー
設定メニューへ切り替え



16. スキャンキー
スキャン再生の開始と停止の切り替え
17. アニメーションキー
ディスクが回転するアニメーションのON / OFFの切り替え
18. 戻るキー
メインのCDメニューへ戻る



19. 操作バー閉キー

CDメニューを使う

CDメニューの操作方法について説明します。

■ 再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[II] キーをタッチします
2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に[▶/II] ボタンを押すと一時停止します。
[▶/II] ボタンをもう一度押すと再生を再開します。

■ 前の/次のファイル/トラックに切り替える

再生中に[◀]または[▶] キーをタッチすると、前の/次のファイルの再生が開始されます。

- [▶] キーをタッチすると、次のトラックの先頭から再生が開始されます。
- [◀] キーをタッチすると、現在のトラックの先頭から再生が開始されます。5秒以内にもう一度タッチすると、前のトラックの先頭から再生が開始されます。

リモコン操作

再生中に[◀]または[▶] ボタンを押すとファイルまたはトラックが前方向に/後方向に切り替わり、再生されます。

■ 早送り/早戻しをする

1. 再生中に、[◀◀]または[▶▶] キーをタッチし続けます

早送り/早戻しが開始します。

リモコン操作

再生中に[◀◀]または[▶▶] ボタンを押すと、早送り/早戻しします。

MEMO

- タッチし続けている間に再生速度は4倍になります。タッチをやめると、通常の再生に戻ります。
- 早送り/早戻しの速度は、ディスクによって異なる場合があります。

■ リピート再生をする

初期設定では、全トラックリピート再生が設定されています。

1. 1トラックリピート再生にするには、[REPEAT] キーをタッチします
2. 全トラックリピート再生に戻すには、もう一度タッチします

リモコン操作

再生中に[REPEAT] ボタンを押すたびに、1トラックリピート、全リピートの順に切り替わります。

MEMO

WMAファイルも同様の操作になりますが、フォルダがある場合、1トラックリピート、1フォルダリピート、全リピートの順に切り替わります。

■ ランダム再生をする

1. 再生中に、[RANDOM] キーをタッチします
トラックのランダム再生が開始されます。
2. ランダム再生を終了する場合は、もう一度タッチします

リモコン操作

再生中に[RDM] ボタンを押すとランダム再生をします。もう一度[RDM] ボタンを押すとランダム再生を終了します。

■ スキャン再生をする

1. [設定] キーをタッチします
設定メニューが表示されます。
2. [スキャン] キーをタッチします
 - 次のトラックが10秒間再生され、引き続き以降のトラックが10秒間ずつ再生されます。
 - [スキャン] キーが[停止] キーに切り替わります。
3. [停止] キーをタッチします
 - 現在のトラックがそのまま再生され続けます。
 - [停止] キーが[スキャン] キーに切り替わります。
 - この機能は、現在のフォルダ内に保存されているすべてのトラックを順番に1度ずつスキャン再生します。スキャン再生の終了後、再生は継続されます。

■ アニメーション(回転エフェクト・視覚エフェクト)を切り替える

アニメーション(回転エフェクト)のオン/オフを切り替えることができます。

初期設定は、「On」です。

1. [設定] キーをタッチします
設定メニューが表示されます。
2. [アニメーション] キーをタッチします
3. 回転エフェクトをオンにする場合は、[Off]、オフにする場合は、[On]をタッチします
[アニメーション]の[On] / [Off]は、現在の状態が表示されます。

■ リスト表示からトラックを選択する

リスト表示からトラックを選択して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

リストが表示されます。

MEMO

リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。

2. 再生したいトラックタイトルをタッチします



選択したトラックの再生が開始されます。

MEMO

再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)、もしくは右側の[▼]または[▲] キーをタッチしリストを切り替えます。

3. 再生したいトラックをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

■ リスト表示からトラック番号を選択する

CD上に記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

リストが表示されます。

MEMO

リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。

2. [Q] キーをタッチします



10キー入力画面が表示されます。

3. 再生したいトラック番号を10キー([0]から[9])で入力します

4. [サーチ] キーをタッチします



入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[CD] キーをタッチします。
- リスト右のディスクイラストをタッチすると、リストが閉じCDモード画面に戻ります。

音楽ファイル(MP3/WMA)を再生する

ディスクの挿入/ディスクの取り出しについては、「ディスクの挿入と取り出し(26ページ)」をご覧ください。

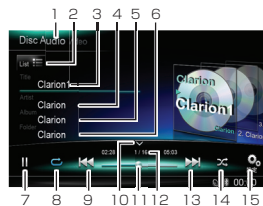
1. ディスク挿入口にCD(MP3/WMA)を入れます

自動的にCD (MP3/WMA) モード画面になり再生が始まります。

2. ディスクがすでに入っている場合は、メインメニュー画面の[Disc] アイコンをタッチするとCD(MP3/WMA)モード画面になり再生が始まります

ディスク音楽メニュー(MP3/WMA)について

画面中央の操作バー閉キー(▼)をタッチすると、CD音楽メニューの操作バーは閉じ、非表示となります。



1. AudioとVideoの切替キー
ファイルが無い場合は、切り替わりません
2. リスト表示切替キー
3. Title : 再生中の曲のタイトル
4. Artist : 再生中の曲のアーティスト
5. Album : 再生中の曲のアルバム
6. Folder : 再生中の曲のフォルダ
7. プレイ/ポーズキー
8. リピートキー
全リピート / 1トラックリピートの切替
9. 前のトラック/早戻しキー

タッチ:前のトラックへ
タッチし続ける:早戻し(4倍速)

10. 操作バー閉キー
11. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
12. 現在のトラック / トラック全部の数
13. 次のトラック/早送り
タッチ:次のトラックへ
タッチし続ける:早送り(4倍速)
14. ランダムキー
ランダムオン / オフの切り替え
15. 設定キー
設定メニューへ切り替え



16. スキャンキー
スキャン再生の開始と停止の切り替え
17. アニメーションキー
ディスクが回転するアニメーションのON / OFFの切り替え
18. 戻るキー
メインのディスク音楽メニューへ戻る



19. 操作バー開キー

ディスク音楽メニュー(MP3/WMA)を使う

ディスク音楽メニューの操作方法について説明します。

■再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[⏏] キーをタッチします
2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に[▶/⏏] ボタンを押すと一時停止します。
[▶/⏏] ボタンをもう一度押すと再生を再開します。

■前の/次のファイル/トラックに切り替える

再生中に[◀]または[▶] キーをタッチすると、前の/次のファイルの再生が開始されます。

- [▶] キーをタッチすると、次のトラックの先頭から再生が開始されます。
- [◀] キーをタッチすると、現在のトラックの先頭から再生が開始されます。5秒以内にもう一度タッチすると、前のトラックの先頭から再生が開始されます。

リモコン操作

再生中に[◀]または[▶] ボタンを押すとファイルまたはトラックが前方向に/後方向に切り替わり、再生されます。

■早送り/早戻しをする

1. 再生中に、[⏮]または[⏭] キーをタッチし続けます

早送り/早戻しが開始します。

リモコン操作

再生中に[◀◀]または[▶▶] ボタンを押すと、早送り/早戻しします。

MEMO

- タッチし続けている間に再生速度は4倍になります。タッチをやめると、通常の再生に戻ります。
- 早送り/早戻しの速度は、ディスクによって異なる場合があります。

■リピート再生をする

初期設定では、全トラックリピート再生が設定されています。

1. 1トラックリピート再生にするには、[🔁] キーをタッチします
2. 全トラックリピート再生に戻すには、もう一度タッチします

リモコン操作

再生中に[RPT] ボタンを押すたびに、1トラックリピート、全リピートの順に切り替わります。

MEMO

フォルダがある場合、1トラックリピート、1フォルダリピート、全リピートの順に切り替わります。

■ランダム再生をする

1. 再生中に、[🎲] キーをタッチします
トラックのランダム再生が開始されます。
2. ランダム再生を終了する場合は、もう一度タッチします

リモコン操作

再生中に[RDM] ボタンを押すとランダム再生をします。もう一度[RDM] ボタンを押すとランダム再生を終了します。

■スキャン再生をする

1. [設定] キーをタッチします
設定メニューが表示されます。
2. [スキャン] キーをタッチします
 - 次のトラックが10秒間再生され、引き続き以降のトラックが10秒間ずつ再生されます。
 - [スキャン] キーが[停止] キーに切り替わります。
3. [停止] キーをタッチします
 - 現在のトラックがそのまま再生され続けます。
 - [停止] キーが[スキャン] キーに切り替わります。
 - この機能は、現在のフォルダ内に保存されているすべてのトラックを順番に1度ずつスキャン再生します。スキャン再生の終了後、再生は継続されます。

■アニメーション(回転エフェクト・視覚エフェクト)を切り替える

アニメーション(回転エフェクト)のオン/オフを切り替えることができます。

初期設定は、「On」です。

1. [設定] キーをタッチします
設定メニューが表示されます。
2. [アニメーション] キーをタッチします
3. 回転エフェクトをオンにする場合は、[Off]、オフにする場合は、[On]をタッチします
[アニメーション]の[On] / [Off]は、現在の状態が表示されます。

■リスト表示からトラックを選択する

リスト表示からトラックを選択して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

オーディオがリスト表示されます。

MEMO

リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。

2. 再生したいフォルダをタッチします



- 再生したいフォルダが表示されていない場合は、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)し、目的のフォルダを表示させます。
- 右側の[▲]または[▼]キーをタッチしてもリストを上下できます。

選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

3. 再生したいトラックをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する

ディスクに記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

リストが表示されます。

MEMO

リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。

2. [Q] キーをタッチします



10キー入力画面が表示されます。

3. 再生したいトラック番号を10キー([0]から[9])で入力します

4. [サーチ] キーをタッチします



入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[Q]キーをタッチします。
- リスト右のディスクイラストをタッチすると、リストが閉じCDモード画面に戻ります。

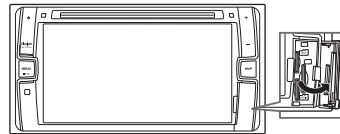
お知らせ

本機に装着できるSDカードの種類は、microSD/microSDHCカードだけです。

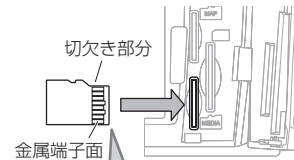
SDカードの出し入れ

■SDカードを挿入するには

1. カバーを開きます



2. microSDカード金属端子面を右側、切欠き部を奥上側の向きにして、カード挿入口に挿入します



注意

- microSDカードは必ず奥に突き当たるまで差し込んでください。[「カチッ」と音がするまで差し込みます。]
- [「カチッ」と音がする位置まで差し込まないで使用すると正常に動作しなかったり、操作パネルを閉じるときに、microSDカードとぶつかり破損する恐れがあります。必ずお守りください。]

3. カバーを閉じます

■SDカードを取り出すには

1. メインメニュー画面で[SD] アイコン以外を選択もしくは電源を切ります

注意

[SD]を選択したまま、SDカードを取り出すとカードが損傷場合があります。

2. カバーを開けます

3. microSDカードを指先でカチッと音がするまで押して離します

4. 指先でカードをしっかりとつまんで取り出します

5. カバーを閉じます

SDカード使用上の注意事項

SDカードのご使用に際しては、「安全にお使いいただくために」(5ページ)、「使用上のご注意」(7ページ)および本書内に記載の注意事項をご覧になり正しくお使いください。

SDカードを再生する

■ 動画ファイルを再生する

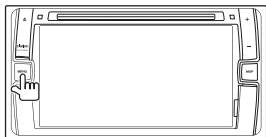
本機では、SDカードに保存した動画ファイル（MP4 など）を再生できます。動画ファイルをSDカードにコピーするだけで、ビデオデバイスとして使用できます。

本機で再生できる動画ファイルに関して詳しくは、「仕様（59ページ）」、「本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」（10ページ）を参照ください。

△ 注意

- 本機は、一部のSDカードでは正しく操作できないことがあります。
- DRMで保護されたファイルは、再生できません。
- サポートされているファイルがない場合は、ファイルリストに何も表示されません。
- SDカード再生中はmicroSDカードをmicroSDカード挿入口から取り出さないでください。故障や誤動作の原因となります。

1. 動画ファイルの入ったmicroSDカードをmicroSDカード挿入口に挿入します
2. メインメニュー画面が表示されるまで [MENU] ボタンを押します



3. [SD] アイコンをタッチします



SDカード動画モードとなり動画の再生が始まります。

MEMO

- SDカードがすでに本機に挿入されている場合は、メインメニュー画面の[SD] アイコンをタッチすると、SDカードモード画面となり動画の再生が始まります。
- SDカードの映像はリアモニターで観ることはできません。

4. オーディオ画面が表示される場合は、画面左上の[Video] キーをタッチし、再生したいトラックをタッチします

SDカード動画モードとなり動画の再生が始まります。

5. 動画ファイルの操作は、「SDカードメニューを使う」（38ページ）を参照し行います。

■ 音楽ファイルを再生する

本機では、SDカードに保存した音楽ファイル（MP3/WMA）を再生できます。音楽ファイルをSDカードにコピーするだけで、オーディオデバイスとして使用できます。

本機で再生できる動画ファイルに関して詳しくは、「仕様（59ページ）」、「本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」（10ページ）、再生できる音楽・動画ファイルについて（11ページ）を参照ください。

△ 注意

- 本機は、一部のSDカードでは正しく操作できないことがあります。
- DRMで保護されたファイルは、再生できません。
- サポートされているファイルがない場合は、ファイルリストに何も表示されません。
- SDカード再生中はmicroSDカードをmicroSDカード挿入口から取り出さないでください。故障や誤動作の原因となります。

1. 音楽ファイルの入ったmicroSDカードをmicroSDカード挿入口に挿入します

2. メインメニュー画面が表示されるまで [MENU] ボタンを押します

3. [SD] アイコンをタッチします



SDカード音楽モードとなり音楽の再生が始まります。

MEMO

- SDカードがすでに本機に挿入されている場合は、メインメニュー画面の[SD] アイコンをタッチすると、SDカードモード画面となり再生が始まります。
- [SD] アイコンがメインメニュー画面にない場合は、画面下部の[-] キーをタッチするか、画面中心をタッチしたまま左右にドラッグして別のメインメニュー画面にスライドしてください。

4. 動画が再生された場合は、画面をタッチし、[■] キーをタッチし、次に画面左上の[Audio] キーをタッチし、再生したいトラックをタッチします

SDカード音楽モードとなり音楽の再生が始まります。

音楽ファイルの操作は、「SDカードメニューを使う」（38ページ）をご覧ください。

■ 画面の明るさを調整する

画面の明るさは別売のリモコンで調整します。

リモコン操作

1. [PIC] ボタンを押すと明るさ調整のポップアップ画面が表示されます。
2. [▶] または[◀] ボタンを押し「ディマー」の値を調整します。
3. 最後に[PIC] ボタンを押すと調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

SDカードメニューについて

■ SDカード動画メニューについて

動画ファイル再生時に画面をタッチすると操作バーのSDカード動画メニューが表示されます。



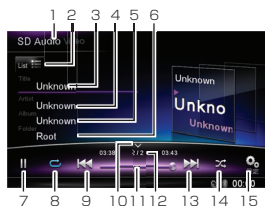
1. プレイ/ポーズキー
2. リピート再生キー
3. 前のトラック/早戻しキー
タッチ:前のトラックへ
タッチし続ける:早戻し
4. 操作バー閉キー
5. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
6. 次のトラック/早送りキー
タッチ:次のトラックへ
タッチし続ける:早送り
7. 停止/リストキー
8. 設定キー
設定メニューへ切り替え



9. 情報キー
10. 戻るキー
メインのSDカード動画メニューへ戻る

■ SDカード音楽メニューについて

画面中央の操作バー閉キー()をタッチすると、SDカード音楽メニューの操作バーは閉じ、非表示となります。



1. AudioとVideoの切替キー
ファイルが無い場合は、切り替わりません。
2. リスト表示切替キー
3. Title : 再生中の曲のタイトル
4. Artist : 再生中の曲のアーティスト
5. Album : 再生中の曲のアルバム
6. Folder : 再生中の曲のフォルダ
7. プレイ/ポーズキー
8. リピート再生キー
9. 前のトラック/早戻しキー
タッチ:前のトラックへ
タッチし続ける:早戻し
10. 操作バー閉キー
11. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
12. 現在のトラック / トラック全部の数
13. 次のトラック/早送りキー
タッチ:次のトラックへ
タッチし続ける:早送り
14. ランダムキー
15. 設定キー
設定メニューへ切り替え



16. スキャンキー
スキャン再生の開始と停止の切り替え
17. 戻るキー
メインのSDカード音楽メニューへ戻る



18. 操作バー開キー

SDカードメニューを使う

SDカードメニューの操作方法について説明します。

MEMO

- 本節に記載されていないSDカードメニューの操作方法については、ディスク動画メニュー、ディスク音楽メニューと同様の方法で操作できます。
- 「ディスク動画メニュー (MP4/DivXなど) を使う」(30ページ)、「ディスク音楽メニュー (MP3/WMAを使う」(35ページ)をご覧ください。

■ Audio/Videoフォルダの切替

ビデオからオーディオへの切替

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします
動画ファイルの再生が停止します。
2. 画面左上の[Audio] キーをタッチします
オーディオフォルダが表示されます。

オーディオからビデオへの切替

1. 画面左上の[Video] キーをタッチします
ビデオフォルダが表示されます。

■リスト表示からトラックを選択する(動画)

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■]キーをタッチします

フォルダ/ファイルリストが表示されます。

MEMO

リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。停止した箇所から再生が再開されます。

2. 再生したいフォルダをタッチします



選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

MEMO

再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)、もしくは右側の[▼]または[▲]キーをタッチしリストを切り替えます。

3. 再生したいトラックをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する(動画)

ディスクに記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■]キーをタッチします

フォルダ/ファイルリストが表示されます。

MEMO

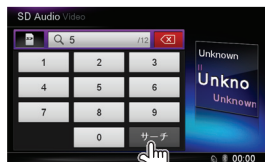
リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。停止した箇所から再生が再開されます。

2. [Q]キーをタッチします



3. 再生したいトラック番号を10キー([O]から[9])で入力します

4. [サーチ]キーをタッチします



入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[■]キーをタッチします。

■リスト表示からトラックを選択する(音楽)

リスト表示からトラックを選択して、再生することができます。

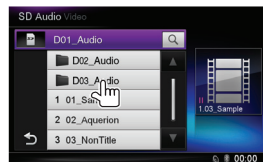
1. [List]キーをタッチします

オーディオがリスト表示されます。

MEMO

リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。

2. 再生したいフォルダをタッチします



MEMO

- 再生したいフォルダが表示されていない場合は、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)し、目的のフォルダを表示させます。
- 右側の[▲]または[▼]キーをタッチしてもリストを上下できます。

選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

3. 再生したいトラックをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する(音楽)

ディスクに記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. [List]キーをタッチします

リストが表示されます。

MEMO

リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。

2. [Q]キーをタッチします



10キー入力画面が表示されます。

3. 再生したいトラック番号を10キー([O]から[9])で入力します

4. [サーチ]キーをタッチします



入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[■]キーをタッチします。
- リスト右のディスクイラストをタッチすると、リストが閉じSDカード音楽モードに戻ります。

USBメモリーで観る・聴く

USBメモリーの接続

■ USBメモリーを接続するには

1. USBケーブルにUSBメモリーを接続します

USBメモリーを接続すると、本機にファイルが自動的に読み込まれます。



MEMO

- ・本機に接続済みのUSBメモリーにアクセスするには、メインメニュー画面で[USB] アイコンをタッチします。
- ・[USB] アイコンが現在のメインメニュー画面にない場合は、画面下部の「-」キーをタッチするか、画面の中心を押したまま左右にドラッグして別のメニュー画面にスライドしてください。
- ・USBメモリーを接続している場合にはiPod/iPhoneを接続することができません。

■ USBメモリーを取り外すには

1. メインメニュー画面で[USB] アイコン以外を選択もしくは電源を切ります

△ 注意

[USB]を選択したまま、USBメモリーを取り外すとデータが損傷する場合があります。

2. USBメモリーを取り外します

USBメモリー使用上の注意事項

USBメモリーのご使用に際しては、「安全にお使いいただくために」(5ページ)、「使用上のご注意」(7ページ)および本書内に記載の注意事項をご覧ください。

USBメモリーを再生する

■ 動画ファイルの再生

本機では、USBメモリーに保存した動画ファイル(MP4/DivXなど)を再生できます。動画ファイルをUSBメモリーにコピーするだけで、ビデオデバイスとして使用できます。

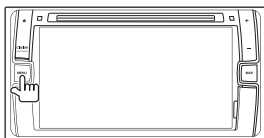
本機で再生できる動画ファイルに関して詳しくは、「仕様(59ページ)」、「本機で再生できるオーディオビデオメディアのファイル形式」(10ページ)、「動画ファイルを再生する(MP4/DivXなど)」(29ページ)を参照ください。

△ 注意

- ・本機は、一部のUSBメモリーでは正しく操作できないことがあります。
- ・DRMで保護されたファイルは、再生できません。
- ・サポートされているファイルがない場合は、ファイルリストに何も表示されません。

1. 動画ファイルの入ったUSBメモリーをUSBケーブルに接続します

2. メインメニュー画面が表示されるまで[MENU] ボタンを押します



3. [USB] アイコンをタッチします。



USBメモリー動画モードとなり動画の再生が始まります。

4. オーディオ画面が表示された場合は、画面左上の[Video] キーをタッチし、再生したいトラックをタッチします

USBメモリー動画モードとなり動画再生を開始します。

動画ファイルの操作は、「USBメニューを使う」(41ページ)をご覧ください。

■ 音楽ファイルの再生

本機では、USBメモリーに保存した音楽ファイル(MP3/WMA)を再生できます。音楽ファイルをUSBメモリーにコピーするだけで、オーディオデバイスとして使用できます。

本機で再生できる動画ファイルに関して詳しくは、「仕様(59ページ)」、「本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」(10ページ)、「音楽ファイル(MP3/WMA)を再生する」(34ページ)を参照ください。

△ 注意

- ・本機は、一部のUSBメモリーでは正しく操作できないことがあります。
- ・DRMで保護されたファイルは、再生できません。
- ・サポートされているファイルがない場合は、ファイルリストに何も表示されません。

1. 音楽ファイルの入ったUSBメモリーをUSBケーブルに接続します

2. [MENU] ボタンを押します

メインメニュー画面が表示されます。

3. [USB] アイコンをタッチします



USBメモリー音楽モード画面となり音楽の再生が始まります。

4. 動画が再生された場合は、画面をタッチし、[■] キーをタッチし、次に画面左上の[Audio] キーをタッチし、再生したいトラックをタッチします

USBメモリー音楽モードとなり音楽の再生が始まります。

音楽ファイルの操作は、「USBメニューを使う」(41ページ)をご覧ください。

■ 画質を調整する

1. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. [▶] キーをタッチします

次のページが表示されます。

3. [画質調整] キーをタッチします

画質調整画面が表示されます。

4. 「ディマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を調整し、画面をタッチします

調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

リモコン操作

1. [PIC] ボタンを押すと画質調整のポップアップ画面が表示されます。
2. [▲]または[▼] ボタンを押して、「ディマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を選択し、[▶]または[◀]ボタンを押して値を調整します。
3. 最後に[PIC] ボタンを押すと調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

USBメニューについて

■ USBメモリー動画メニューについて

動画ファイル再生時に画面をタッチすると操作バーのUSBメモリー動画メニューが表示されます。

操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。



1. プレイ/ポーズキー
2. リピート再生キー
3. 前のトラック/早戻しキー
タッチ:前のトラックへ
タッチし続ける:早戻し
4. 操作バー閉キー
5. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
6. 次のトラック/早送りキー
タッチ:次のトラックへ
タッチし続ける:早送り
7. 停止/リストキー
8. 設定キー
設定メニューへ切り替え



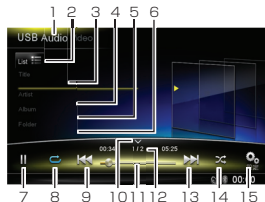
9. 音声言語切替キー
10. 字幕言語切替キー
11. ワイドスクリーン切替キー

12. 画質調整キー
13. 情報キー
14. 戻るキー

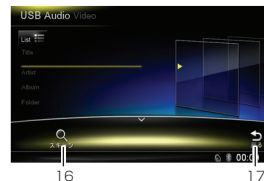
メインのUSBメモリー動画メニューへ戻る

■ USBメモリー音楽メニューについて

画面中央の操作バー閉キー(▼)をタッチすると、USBメモリー音楽メニューの操作バーは閉じ、非表示となります。



1. AudioとVideoの切替キー
ファイルが無い場合は、切り替わりません。
2. リスト表示切替キー
3. Title : 再生中の曲のタイトル
4. Artist : 再生中の曲のアーティスト
5. Album : 再生中の曲のアルバム
6. Folder : 再生中の曲のフォルダ
7. プレイ/ポーズキー
8. リピート再生キー
9. 前のトラック/早戻しキー
タッチ:前のトラックへ
タッチし続ける:早戻し
10. 操作バー閉キー
11. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
12. 現在のトラック / トラック全部の数
13. 次のトラック/早送りキー
タッチ:次のトラックへ
タッチし続ける:早送り
14. ランダムキー
15. 設定キー
設定メニューへ切り替え



16. スキャンキー
スキャン再生の開始と停止の切り替え
17. 戻るキー
メインのSDカード音楽メニューへ戻る



18. 操作バー閉キー

USBメニューを使う

USBメモリーメニューの操作方法について説明します。

MEMO

- 本節に記載されていないUSBメモリーメニューの操作方法については、ディスク動画メニュー、ディスク音楽メニューと同様の方法で操作できます。
- 「ディスク動画メニュー(MP4/DivXなど)を使う」(30ページ)、「ディスク音楽メニュー(MP3/WMAを使う」(35ページ)をご覧ください。

■ Audio/Videoフォルダの切替

ビデオからオーディオへの切替

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします
動画ファイルの再生が停止します。

2. 画面左上の[Audio] キーをタッチします
オーディオフォルダが表示されます。

オーディオからビデオへの切替

1. 画面左上の[Video] キーをタッチします
ビデオフォルダが表示されます。

■リスト表示からトラックを選択する(動画)

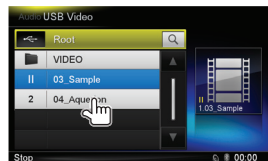
1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします

フォルダ/ファイルリストが表示されます。

MEMO

リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。停止した箇所から再生が再開されます。

2. 再生したいフォルダをタッチします



選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

MEMO

再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)、もしくは右側の[▼]または[▲] キーをタッチしリストを切り替えます。

3. 再生したいトラックをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する(動画)

ディスクに記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. 画面をタッチし、表示される操作バー上のメニューの[■] キーをタッチします

フォルダ/ファイルリストが表示されます。

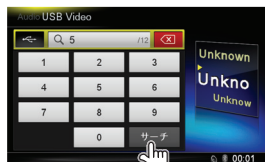
MEMO

リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。停止した箇所から再生が再開されます。

2. [Q] キーをタッチします



3. 再生したいトラック番号を10キー([0]から[9])で入力します



入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[<] キーをタッチします。

■リスト表示からトラックを選択する(音楽)

リスト表示からトラックを選択して、再生することができます。

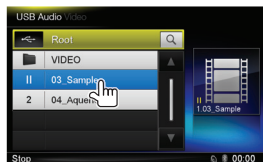
1. [List] キーをタッチします

オーディオがリスト表示されます。

MEMO

リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。

2. 再生したいフォルダをタッチします



MEMO

- 再生したいフォルダが表示されていない場合は、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)し、目的のフォルダを表示させます。
- 右側の[▲]または[▼] キーをタッチしてもリストを上下できます。

選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

3. 再生したいトラックをタッチします

選択したトラックの再生が開始されます。

■リスト表示からトラック番号を選択する(音楽)

ディスクに記録されたトラック番号を使用して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

リストが表示されます。

MEMO

リスト表示から戻るには、画面右の画像をタッチします。

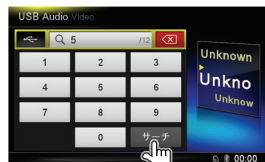
2. [Q] キーをタッチします



10キー入力画面が表示されます。

3. 再生したいトラック番号を10キー([0]から[9])で入力します

4. [サーチ] キーをタッチします



入力したトラック番号のトラックが再生されます。

MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[<] キーをタッチします。
- リスト右のディスクイラストをタッチすると、リストが閉じSDカード音楽モードに戻ります。

iPod®/iPhone®で観る・聴く

お知らせ

本機でiPod/iPhone音楽を再生するときは

- iPod/iPhoneに付属のケーブルを使用し、本機と接続してください。

本機でiPod/iPhoneビデオを再生するとき

- 別売のCCA-750-500ケーブルを使用し、本機と接続してください。
- ただし、一部のiPod/iPhoneでは接続コネクタが合わず接続できない場合や、接続してもビデオ再生ができない機種もございます。詳しくは、弊社Webサイト(<http://www.clarion.com/>)をご覧ください。

iPod/iPhone使用上の注意事項

- iPod/iPhoneのご使用に際しては、本書内に記載の注意事項をご覧になり正しくお使いください。
- iPod/iPhoneは、ヘッドホンをはずしてから本機に接続してください。
- iPod/iPhoneを接続した時のキー操作は、本機にて行ってください。一部のモデルではオーディオモード/ビデオモードともに、iPod/iPhone側のキー操作が出来ない場合がございます。(シンプルモードを除く)
- iPodモードのときに、iPodを脱着しないでください。雑音が発生し、スピーカー破損の原因となる場合があります。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを外して再度接続してください。
- 車のエンジンを切った後は、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があります。バッテリーが消耗する恐れがあります。
- iPodが操作不能になった場合は、iPod本体をリセットし、再度接続してください。
- ビデオデータの音量設定はオーディオデータよりも比較的低い設定となっています。他のモードに切り替える前に、必ず音量を下げてください。

■バッテリーの準備について

iPod/iPhoneの内部バッテリーが低下している状態で本機にiPod/iPhoneを接続した場合、正常に動作しない場合があります。バッテリーが低下している場合は、充電してから接続してください。

MEMO

- 本機と接続可能なiPodに関しては、弊社Webサイト(<http://www.clarion.com/>)をご覧ください。
- 一部のiPod/iPhoneではビデオ再生ができない場合がございます。詳しくは、弊社Webサイト(<http://www.clarion.com/>)をご覧ください。
- iPod/iPhoneのバージョンによっては、再生できない場合があります。
- iPodの機種によって再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しない場合があります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- 本機のiPodモードでは、他のメイン画面とは異なるiPod/iPhone専用コントロール画面が表示されます。
- データがない場合、タイトル表示がブランクとなります。
- iPod/iPhone使用時にはイコライザー機能がオフになります。
- 走行中は、「画像は停車中にお楽しみください」と表示されます。
- iPod/iPhoneのステータスによっては、画像データが再生できない場合があります。
- iPodメニュー画面でトラックが含まれていないカテゴリーを選択しないでください。iPod/iPhoneがフリーズする場合があります。iPod/iPhoneがフリーズした場合は、iPod/iPhoneの取扱説明書に記載された手順でiPod/iPhoneをリセットしてください。
- 音声がかすかにビデオ映像とずれて再生される場合があります。

iPodを接続する/再生する

■オーディオの再生

1. iPod/iPhoneに付属のケーブルを経由して、USBケーブルに接続します
2. メインメニュー画面が表示されるまで[MENU] ボタンを押します
3. [iPod] アイコンをタッチします



iPodオーディオモードに切り替わり、前回の再生位置から再生が開始されます。

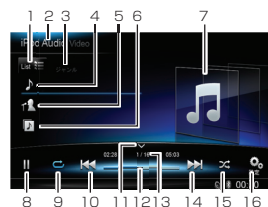
■ビデオの再生

1. iPod/iPhoneを別売のCCA-750-500ケーブル経由でUSBケーブルに接続します。
2. メインメニュー画面が表示されるまで[MENU] ボタンを押します
3. [iPod] アイコンをタッチします
4. AudioとVideoの切替キーをタッチします
項目/ビデオリストが表示されます。
5. 再生したい項目をタッチします
ビデオの再生が開始されます。

iPodメニューについて

■iPodオーディオメニューについて

画面中央の操作バー閉キー(▼)をタッチすると、iPodオーディオメニューの操作バーは閉じ、非表示となります。



1. iPodのAudioとVideoの切替キー
2. Listキー
3. ジャンル
4. 曲名
5. アーティスト名
6. アルバム名
7. アートワーク
8. プレイ/ポーズキー
9. リピート再生キー
1トラックリピート、全リピート、リピートオフと切り替わります。
10. 前のトラック/早戻しキー
タッチ: 前のトラックへ
タッチし続ける: 早戻し
11. 操作バー閉キー
12. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
13. 現在のトラック / トラック全部の数
14. 次のトラック/早送りキー
タッチ: 次のトラックへ
タッチし続ける: 早送り
15. シャッフルキー
ソングシャッフル、アルバムシャッフル、シャッフルオフの順に切り替わります。
16. 設定キー
設定メニューへ切り替え



17. シンプルモード

[On]を選択するとシンプルコントロールモードが設定され、シンプルコントロール画面が表示されます。

この画面は、iPodオーディオモードおよびiPodビデオモードのいずれからも表示することができます。この画面では、「Previous Track」(前のトラック)、「Play/Pause」(プレイ/ポーズ)、および「Next Track」(次のトラック)のみが操作できます。

18. オーディオブック

オーディobook再生速度を遅い、普通、速いから選択します。

19. 戻るキー

メインのiPodオーディオメニューへ戻る



20. 操作バー開キー

■ iPodビデオメニューについて

iPodビデオ再生時に画面をタッチすると操作バーのiPodビデオメニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。



1. プレイ/ポーズキー

2. リビート再生キー

1トラックリビート、全リビート、リビートオフと切り替わります。

3. 前のトラック/早戻しキー

タッチ: 前のトラックへ
タッチし続ける: 早戻し

4. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間

5. 操作バー閉キー

6. 次のトラック/早送りキー

タッチ: 次のトラックへ
タッチし続ける: 早送り

7. リストキー

8. 設定キー

設定メニューへ切り替え



9. シンプルモード

[On]を選択するとシンプルコントロールモードが設定され、シンプルコントロール画面が表示されます。この画面は、iPodオーディオモードおよびiPodビ

デオモードのいずれからも表示することができます。この画面では、「Previous Track」(前のトラック)、「Play/Pause」(プレイ/ポーズ)、および「Next Track」(次のトラック)のみが操作できます。

10. ワイドスクリーン

ワイドスクリーンのOn/Offを切り替えます。

11. 画質調整キー

12. 戻るキー

メインのiPodビデオモードメニューへ戻る

iPodメニューを使う

iPodメニューの操作方法について説明します。

■ 再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[⏏] キーをタッチします

2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

リモコン操作

再生中に[▶/⏏] ボタンを押すと一時停止します。
[▶/⏏] ボタンをもう一度押すと再生を再開します。

■ トラックをスキップする

1. 再生中に[⏮]または[⏭] キーをタッチします

タッチした回数分、トラックがスキップされ、再生が開始されます。

MEMO

- [▶/⏏] キーをタッチすると、次のトラックの先頭から再生が開始されます。
- [⏮] キーをタッチすると、現在のトラックの先頭から再生が開始されます。
- 5秒以内にもう一度タッチすると、前のトラックの先頭から再生が開始されます。
- シンプルコントロールモードの場合は、iPod側で簡易的な操作が可能です。

■ リビート再生する

初期設定では、リビートオフが設定されています。

1. [⏮] キーをタッチするたびに1トラックリビート、全リビート、リビートオフの順に切り替わります

MEMO

全リビートの対象は、再生時に選択したアルバム、プレイリスト、アーティストなどの項目内です。

リモコン操作

[RPT] ボタンを押すたびに、1トラックリビート、全リビート、リビートオフの順に切り替わります。

■ シャッフル再生する

初期設定では、シャッフルオフが設定されています。

1. [⏮] キーをタッチするたびにソングシャッフル、アルバムシャッフル、シャッフルオフの順に切り替わります

リモコン操作

[RDM] ボタンを押すたびに、ソングシャッフル、アルバムシャッフル、シャッフルオフの順に切り替わります。

■リスト表示から曲を選択する(オーディオ)

リスト表示から曲を選択して、再生することができます。

1. [List] キーをタッチします

オーディオがリスト表示されます。

2. [] キーをタッチします

3. 再生したい項目をタッチします

MEMO

項目は、「再生中・プレイリスト・曲・アーティスト・アルバム・ジャンル・作曲家・オーディオブック・Podcast」から選択します。



選択した項目の曲リストが表示されます。

MEMO

再生したい項目がない場合は、右側の[▶]をタッチして項目を切り替えます。

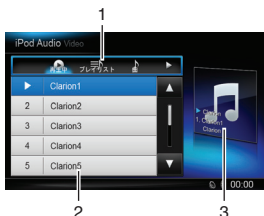
4. 再生したい曲をタッチします



選択した曲をアートワークに表示し、再生を開始します。

MEMO

- 再生したい曲が表示されていない場合は、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)もしくは右側の[▼]または[▲]キーをタッチしリストを切り替えます。
- 前の階層に戻るには、左上のキーをタッチし、項目切替エリアを表示します。
- 左上に表示されるキーは、現在選択中の項目です。



1. 項目切替エリア

プレイリスト、曲、アーティスト、アルバム、ジャンル、作曲家、オーディオブック、Podcastにリストを切り替えます。

2. リストエリア

再生中の曲のアートワークが表示されます。

3. アートワーク

タッチするとiPodオーディオモード画面へ切り替わります。

■リスト表示からビデオを選択する(ビデオ)

1. 画面左上の[iPod Video] キーをタッチします

2. 表示される操作バー上のメニューの[] キーをタッチします

項目/ビデオリストが表示されます。

3. 再生したい項目をタッチします

MEMO

項目は、「ムービー・ミュージックビデオ・テレビ番組・ビデオPodcast・レンタルムービー」から選択します。



選択した項目のビデオリストが表示されます。

MEMO

再生したい項目がない場合は、右側の[▶]をタッチして項目を切り替えます。

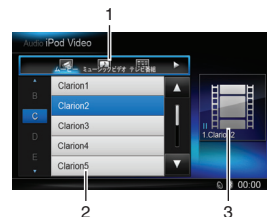
4. 再生したいビデオをタッチします



選択したビデオの再生が開始されます。

MEMO

- 再生したいビデオが表示されていない場合は、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)もしくは右側の[▼]または[▲]キーをタッチしリストを切り替えます。
- 前の階層に戻るには、左上のキーをタッチし、項目切替エリアを表示します。
- 左上に表示されるキーは、現在選択中の項目です。



1. 項目切替エリア

ムービー、ミュージックビデオ、テレビ番組、ビデオPodcast、レンタルムービーにリストを切り替えます。

2. リストエリア

3. アートワーク

再生中のビデオのアートワークが表示されます。

■画質を調整する

1. [設定] キーをタッチします

設定メニューが表示されます。

2. [画質調整] キーをタッチします

画質調整画面が表示されます。

3. 「ディマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を調整し、画面をタッチします

調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

リモコン操作

- [PIC] ボタンを押すと画質調整のポップアップ画面が表示されます。
- [▲]または[▼] ボタンを押し、「ディマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を選択し、[▶]または[◀]ボタンを押して値を調整します。
- 最後に[PIC] ボタンを押すと調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

■ シンプルコントロールモード(オーディオ)

シンプルコントロールモードにすると、iPod側で簡易的な操作が可能となります。

シンプルコントロールモードでiPodオーディオを操作する手順は以下のとおりです。

1. iPodモード画面の[] キーをタッチします

設定画面が表示されます。

2. [シンプルモード] キーをタッチします

iPodオーディオのシンプルコントロールモードとなり、音楽の再生を始めます。

MEMO

[iPod Audio] キーをタッチすると、[iPod Video] モードになります。



■ シンプルコントロールモード(ビデオ)

シンプルコントロールモードにすると、iPod側で簡易的な操作が可能となります。

シンプルコントロールモードでiPodビデオを操作する手順は以下のとおりです。

1. iPodモード画面の[] キーをタッチします

設定画面が表示されます。

2. [シンプルモード] キーをタッチします

iPodビデオモードとなり、iPod側で再生したいビデオを選択すると、ビデオの再生を始めます。

MEMO

[iPod Video] キーをタッチすると、[iPod Audio] モードになります。



MEMO

iPodで[ビデオ]・[設定]・[TV出力]を「オン」に設定します。

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器として通信を行います。

本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を接続して利用できます。

Bluetooth対応機器を利用するには、本機に登録(ペアリング)する必要があります。

Bluetooth使用上の注意事項

Bluetoothのご使用に際しては、「安全にお使いいただくために」(5ページ)、「使用上のご注意」(7ページ)および本書内に記載の注意事項をご覧になり正しくお使いください。

MEMO

- ・本機は、一部のBluetoothオーディオプレーヤーでは正しく操作できない場合があります。
- ・弊社では、本機と携帯電話との互換性については保証いたしません。詳しくは、弊社Webサイト(<http://www.clarion.com/>)をご覧ください。

携帯電話を登録する(ペアリング)

はじめてBluetooth対応携帯電話を利用するときは、本機に登録(ペアリング)する必要があります。以下の手順でペアリングしてから操作してください。

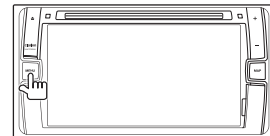
■ 携帯電話から登録する

1. 設定画面のBluetooth項目(52ページ)で本機のBluetooth機能をオンにします

MEMO

ペアリングは電話モード時のみ行えます。

2. メインメニュー画面が表示されるまで [MENU] ボタンを押します



3. [電話] アイコンをタッチします



電話モードになります。

4. 携帯電話のBluetooth機能をオンにします

5. 携帯電話をBluetooth設定メニューにします

新しいBluetoothデバイスを検索します。

6. 携帯電話のペアリングリストから、NX702Wを選択します

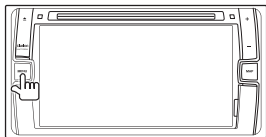
ペアリングが成功すると、画面の右下のインジケータ  が青色に変わりペアリングが確定します。

MEMO

- 携帯電話の機種によっては、パスコードの入力が必要になります。その場合は、パスコードキーを入力します。
- また機種によっては、本機に入力したパスキーと携帯電話側のパスキーとが同一かを確認する画面が表示されます。その場合は、画面にしたがって操作してください。
- パスコードの初期設定は「0000」です
- ペアリング後、デバイス名、Bluetooth信号の強さ、バッテリー残量などの携帯デバイス情報が画面の右に表示されます。
- Androidのスマートフォンではペアリングすると電話帳転送をするかしないかを聞いてくるものがあります。電話帳を転送する場合にはスマートフォンの画面の指示に従って操作してください。転送しない場合にはキャンセルを押してください。
- ご使用になっているスマートフォンに表示される内容にそって操作してください。
- 表示される内容はスマートフォンによって異なります。
- 本機では、最大3台まで登録することができます。

■本機から登録する

1. メインメニュー画面が表示されるまで [MENU] ボタンを押します



2. [電話] アイコンをタッチします



電話モードになります。

3. 画面の右側にある[追加] キーをタッチします

本機でBluetoothデバイスが検索され、画面に一覧表示されます。

4. 目的のデバイスがリストにない場合は、画面の左下の[更新] キーをタッチして更新します



検索を停止するには、[キャンセル]をタッチします。

5. 画面のデバイス名をタッチし、パスコードを入力します

6. デバイスイメージを選択し、[決定] キーをタッチします

7. 本機と電話機にパスキーの確認画面が表示される場合は、番号が同じであることを確認し、[承認] キーをタッチします

ペアリングが確定します。

8. 接続に失敗した場合は、[再接続] キーをタッチして再接続するか、[キャンセル] キーをタッチしてリストメニューに戻ります

接続する携帯電話を切り替える

1. 現在接続しているデバイスをタッチし、[切断] キーをタッチします

現在の接続が、切断されます。

2. [右向き] / [左向き] キーをタッチし、接続したいデバイスに表示を切り替えます。



3. 選択したデバイスをタッチし、[接続] キーをタッチします

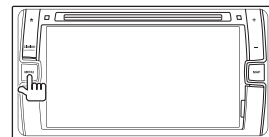
MEMO

[更新] キーをタッチすると、ペアリングされたデバイスをペアリングリストから削除できます。

電話モード画面について

Bluetooth接続した電話機をハンズフリー操作する画面です。次の手順で開きます。

1. メインメニュー画面が表示されるまで [MENU] ボタンを押します



2. [電話] アイコンをタッチします

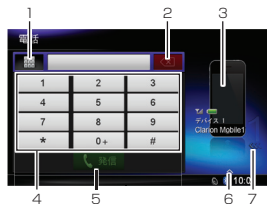


電話モードになります。

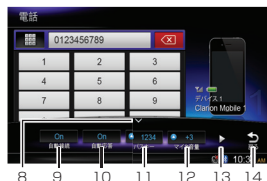
Bluetooth接続した電話機のハンズフリー画面（電話モード画面）を表示します

MEMO

[電話] アイコンが現在のメインメニュー画面にない場合は、画面下部の [-] キーをタッチするか、画面の中心を押したまま左右にフリップして他のページを表示させてください。



1. 履歴/電話帳表示キー
2. バックスペース (削除) キー
3. ペアリングデバイスリスト
4. 10キーパッド
5. 発信/終話キー
6. 操作/パー開キー
7. デバイス切替キー



8. 操作/パー開キー
9. 自動接続機能のオン/オフ切替キー
自動接続は、接続が切断されたり、システムが再起動した場合に自動的に電話機への再接続を行う機能です。
タッチするたびに[On]/[Off]を切り替えます。
初期設定は[Off]です。
10. 自動応答機能のオン/オフ切替キー
自動応答は、着信の約5秒後に自動応答を行う機能です。
タッチするたびに[On]/[Off]を切り替えます。
初期設定は[Off]です。
11. パスコード設定キー
12. マイク感度 (ゲイン) の調整キー
マイク入力レベルを10段階で調整できます。

[マイク音量]の[+]または[-]キーをタッチして入力レベルを調整します。

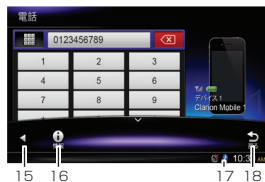
初期設定は[+5]です。

マイクの入力レベルは周囲環境の影響を受けることがあります。通話相手の受話に問題がある場合は入力レベルを調整してください。

13. 次のページを表示キー

14. 戻るキー

メインの電話メニューへ戻る



15. 前のページを表示キー

16. Bluetooth情報を表示キー

17. Bluetoothインジケータ

18. 戻るキー

メインの電話メニューへ戻る

電話をかける

■ 番号をダイヤルし発信する

- ・番号をダイヤルする

⚠ 注意

走行中、運転者は電話をかけないでください。電話をかける場合は、車を安全な場所に停車してから行ってください。

1. 画面の10キーを使って番号を入力します

2. [発信] キーをタッチします

ダイヤルされます。

MEMO

入力を間違えた場合は、[X] キーをタッチすると文字が削除されます。

3. [終話] キーをタッチします

通話が終了します。

■ 発信/着信/不在着信履歴から発信する

発信/不在/着信履歴を検索できます。



1. [履歴表示] キーをタッチします

電話番号入力、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴、電話帳が表示されます。

2. いずれかの履歴をタッチします

選択した履歴リストが表示されます。

3. ダイヤルしたい相手先を選択して [発信] キーをタッチします

ダイヤルされます。

- ・[戻る] キーをタッチすると前のメニューに戻ります。

■ 電話帳から発信する

電話帳の連絡先の名前を検索して発信できます。

1. [電話履歴表示] キーをタッチし、[電話帳] を選択します

最初に電話帳を同期する際、数分かかることがあります。

選択した名称に登録されている電話番号が表示されます。

2. 番号を選択して [発信] キーをタッチします

ダイヤルされます。

[戻る] キーをタッチすると前のメニューに戻ります。

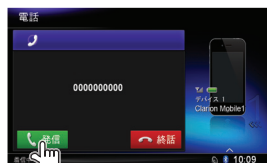
MEMO

電話帳のデータ転送が、一部の携帯電話では使用できない場合がございます。電話帳履歴の使用につきましても、一部の携帯電話でできない場合がございます。

詳しくは、弊社Webサイト(<http://www.clarion.com/>)をご覧ください。

電話を受ける(着信に応答する)

1. [発信] キーをタッチします



着信に応答できます。

2. [終話] キーをタッチします

着信を拒否できます。

Bluetoothオーディオを再生する

■ オーディオストリーミングの操作

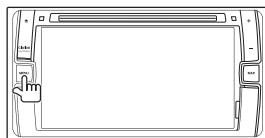
・オーディオストリーミングとは

オーディオストリーミングとは、安定した、かつ連続した流れで処理できるようにオーディオデータを転送する技術です。外部のオーディオプレーヤーからカーステレオにワイヤレスで音楽をストリーミングし、車のスピーカーで曲を聴くことができます。

MEMO

- ・オーディオストリーミングの操作を行うには、ペアリングが必要です。
- ・ペアリングについては、「携帯電話を登録する(ペアリング)」(46ページ)をご覧ください。

1. メインメニュー画面が表示されるまで [MENU] ボタンを押します



2. [Bluetooth Audio] アイコンをタッチします



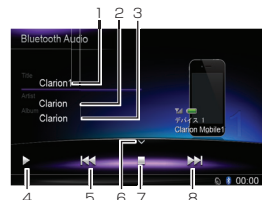
Bluetoothオーディオモードになります。

MEMO

- ・オーディオストリーミング中に、接続済みの携帯電話を操作しないでください。曲の再生中にノイズが発生したり、音が途切れたりすることがあります。
- ・オーディオストリーミングは、電話の割り込み後に再開することもあり、しないこともあります。これは、携帯電話によって異なります。

Bluetoothオーディオメニューについて

画面中央の操作バー閉キー(▼)をタッチすると、Bluetoothオーディオメニューの操作バーは閉じ、非表示となります。



1. Title
2. Artist
3. Album
4. プレイ/ポーズキー
5. 前のトラック/早戻しキー
タッチ: 前のトラック
タッチし続ける: 早戻し
6. 停止キー
7. 操作バー閉キー
8. 次のトラック/早送りキー
タッチ: 次のトラック
タッチし続ける: 早送り



9. 操作バー閉キー

Bluetoothオーディオメニューを使う

Bluetoothオーディオメニューの操作方法について説明します。

■ 再生/一時停止する

1. [再生中に一時停止する場合は、[||] キーをタッチします
2. 再生を再開する場合は、[▶] キーをタッチします

■ 前の/次のトラックを切り替える

再生中に[▶▶]または[◀◀] キーをタッチすると前の/次のトラックから再生を開始します。

1. [▶▶] キーをタッチします
次のトラックの先頭に移動します。
2. [◀◀] キーをタッチします
現在のトラックの先頭に移動します。
もう一度[◀◀] キーをタッチすると前のトラックの先頭から再生が開始します。

■ 再生を停止する

1. [■] キーをタッチすると再生が停止します

MEMO

- ・再生の順番は、Bluetoothオーディオプレーヤーによって異なります。[▶▶] キーをタッチすると、再生された時間によっては、現在のトラックをもう1度再生しなおします。
- ・一部のBluetoothオーディオプレーヤーでは、本機と再生/停止を同期できないことがあります。デバイスとメインユニットが、Bluetoothオーディオモードで同じ再生/停止ステータスであることを確認してください。

AUX・リアモニターを使う

AUXへの外部機器の接続

AUX入力端子への外部機器の接続は、本機取付説明書の「結線のしかた」をご覧ください。正しく接続してください。

AUXを使う

オーディオ、ゲーム、ビデオカメラ、iPad/iPhoneなどの外部機器を、本機背面のAUX端子に接続し、外部機器を使用することができます。

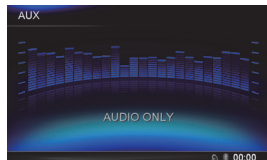
■AUX IN / AV INモードに切り替える

1. メインメニュー画面の[AUX] アイコンをタッチします

AUX IN/AV INモードに切り替わり、外部機器の映像と音声が出ます。

MEMO

外部機器がオーディオだけ、または走行中の場合は、次の画面が表示されます。



2. メインメニュー画面に戻るには、操作パネルの[MENU] ボタンを押します

MEMO

- AUX入力端子に接続された外部機器を本機から操作することはできません。
- iPhone/iPodを別売のCCA-750-500ケーブルで接続している場合にはAUXは使用できません。

■画質を調整する

画質は別売のリモコンで調整します。

リモコン操作

1. [PIC] ボタンを押すと画質調整のポップアップ画面が表示されます。
2. [▲]または[▼] ボタンを押し、「ディーマー」、「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」を選択し、[▶]または[◀]ボタンを押し値を調整します。
3. 最後に[PIC] ボタンを押すと調整した値に設定され、元の画面に戻ります。

リアモニター(別売)を使う

別売のリアモニターを本機のビデオ出力端子に接続すると、本機で再生した映像と同じ映像をリアモニターで見ることができます。接続方法は取付説明書を参照ください。

お知らせ

テレビ映像およびmicroSDの動画再生映像はリアモニターで見ることはできません。

カメラを使う

リアカメラ(別売)の接続

リアカメラの接続は、本機取付説明書の「結線のしかた」をご覧ください。正しく接続してください。

リアカメラ(別売)を使う

別売の後方確認カラーカメラを接続すると、車の後方をモニターで見られます。別売の後方確認カラーカメラは、ご購入店にご相談のうえ、お買い求めください。

お知らせ

本機には、ガイドライン目安線表示機能はございません。

⚠ 警告

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度(徐行)でご使用ください。

⚠ 注意

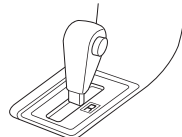
- リアカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。リアカメラの接続は、本機取付説明書の「結線のしかた」をご覧ください。正しく接続してください。

MEMO

カメラが本機に接続されていない場合には、画面上に[ビデオ信号がありません]と表示されます。

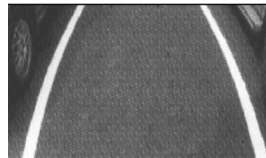
■リアカメラの映像を表示する

1. エンジンをつける
2. セレクトレバーをR(リバース)にする



リアカメラの映像に切り替わります。

オーディオ関連の画像が表示されているときでも、リアカメラの映像が優先して表示されます。



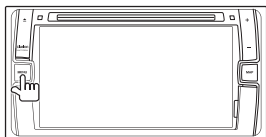
MEMO

本機が起動直後などの中には、画面切り替わりに時間がかかることがあります。

設定画面

設定画面は、次の手順で開きます。

1. メインメニュー画面が表示されるまで
[MENU] ボタンを押します



2. [Custom] アイコンをタッチします



3. [設定] アイコンをタッチします

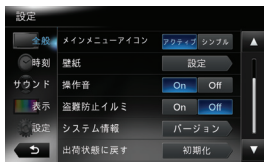
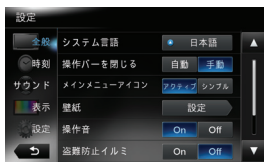


設定メニューが表示されます。

4. 画面左の「全般」、「時刻」、「サウンド」、「表示」、「設定」のカテゴリーをタッチし、それぞれの設定行きます

5. 設定メニューを終了するには、画面の左下の「戻る」キーをタッチします。

全般



システム言語

[システム言語] 項目の右側のキーをタッチすると言語リスト(日本語・英語)が表示されます。目的の言語を選択して[決定] キーをタッチして確定するか、[キャンセル] キーをタッチして保存せずに終了します。

初期設定は[日本語]です。

操作バーを閉じる

[自動] キーをタッチすると、操作バーが約5秒後に自動的に閉じます。

[手動] キーをタッチすると、操作バーは画面の操作バー閉キー(戻る)をタッチすると閉じます。

初期設定は[手動]です。

MEMO

操作バー閉じる設定を、[手動]にすると、モードによっては、そのモードに切り替えた時点で、自動的に操作バーが表示されます。また、モードによっては操作バーが約5秒後に閉じます。

メインメニューアイコン

[アクティブ] キーをタッチすると、メインメニューのアイコンがアニメーション表示になります。

[シンプル] キーをタッチすると、メインメニューのアイコンはシンプル表示になります。

初期設定は[アクティブ]です。

壁紙

[壁紙] 項目右の [設定] キーをタッチすると、壁紙設定メニューが表示されます。

[◀]または[▶] キーをタッチしてSource/Customを選択します。

右側の画像ファイル名をタッチしてプレビュー表示し気に入れば、[設定] キーをタッチして設定を確定します。

画像をインポートするには、[読み込み] キーをタッチします。

SDカードから目的の画像を選択して[読み込み] キーをタッチします。または[キャンセル] キーをタッチして終了します。

MEMO

- SDカードの画像ファイルのみ読み込みめます。
- 画像ファイルは、Root(直下)に入れてください。
- 画像ファイル形式は「JPEG」ですが、ファイルによっては読み込みできない場合もあります。

操作音

[On]または[Off] キーをタッチすると、キーの操作音がオンまたはオフになります。

初期設定は[On]です。

盗難防止イルミ

[On]または[Off] キーをタッチすると、LEDの点滅がオンまたはオフになります。

[On]にすると、ACCがオフのときに操作パネルの左上のLEDが点滅します。

初期設定は[Off]です。

システム情報

[バージョン] キーをタッチすると、現在のシステムソフトウェアバージョンが表示されます。

OS、Bluetooth、MPEG、Application、MCUのバージョン確認ができます。

出荷状態に戻す

[初期化] キーをタッチすると、工場出荷時の設定に戻ります。

時刻



GPS時間同期

[On] キーをタッチすると、時刻をGPSと同期し、時刻の設定が無効になります。

初期設定は[On]です。

時刻

[時刻] 項目の右のキーをタッチすると時刻設定メニューが表示されます。[▲] キーまたは[▼] キーをタッチして時間または分を選択します。[設定] キーをタッチして確定するか[戻る] キーをタッチして保存せずに終了します。

24時間表示

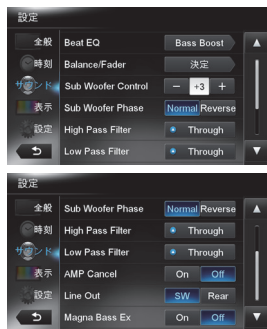
[On] キーをタッチすると24時間表示形式が選択されます。[Off] キーをタッチすると12時間表示形式が選択されます。

初期設定は[On]です。

MEMO

地図画面上での表示は、24時間表示となります。

サウンド



Beat EQ

[Beat EQ] 項目右のキーをタッチすると、EQ設定メニューが表示されます。[Bass Boost] (低音を強調)、[Impact] (低音と高音を強調)、[Excite] (低音と高音をImpactよりさらに強調)、[Custom] (音質をきめ細かく設定します)、[Off] (オフ) から選択できます。

値を調整するには、画面の[-] または[+] キーをタッチします。[戻る] キーをタッチして終了します。初期設定は[Off]です。

Balance/Fader (バランス/フェーダー)

[Balance/Fader] 項目右の[決定] キーをタッチすると、Balance/Fader設定メニューが表示されます。

[▲] または [▼] キーをタッチしてフェーダーを調整し、[◀] または [▶] キーをタッチしてバランスを調整します。

[Center] キーをタッチすると、値がリセットされます。[戻る] キーをタッチして終了します。

初期設定はBalance/Faderともに[0]です。

Sub Woofer Control

[Sub Woofer Control] 項目右にある[-] または[+] キーをタッチするとサブウーファのレベルを調整できます。

初期設定は[+3]です。

Sub Woofer Phase (サブウーファ位相)

サブウーファの位相を[Normal]または[Reverse]から選択します。

初期設定は[Normal]です。

High Pass Filter (ハイパスフィルター)

[High Pass Filter] 項目右にあるキーをタッチしてサブメニューを表示し、フィルターを[Through]、[60Hz]、[90Hz]または[120Hz]から選択します。または[キャンセル] キーをタッチして終了します。

初期設定は[Through]です。

Low Pass Filter (ローパスフィルター)

[Low pass filter] 項目右にあるキーをタッチしてサブメニューを表示し、フィルターを[Through]、[60Hz]、[90Hz]または[120Hz]から選択します。または[Cancel] キーをタッチして終了します。

初期設定は[Through]です。

AMP Cancel

アンプのオーディオ出力の[On]または[Off]を設定します。外部アンプを設定するときは、[On]にしてください。

初期設定は[Off]です。

Line Out

ライン出力をサブウーファもしくはリアスピーカーのどちらかに切り替えます。

[SW]: サブウーファ

[Rear]: リアスピーカー

初期設定は[SW]です。

Magna Bass Ex (マグナベースEx)

[On] キーをタッチすると、ラウドネスがオンになります。

初期設定は[Off]です。

表示



ディマーモード

[自動]、[昼]または[夜] キーをタッチして調光モードを選択します。

[自動]: 調光は車のイルミネーションに連動し、[昼]または[夜]モードに切り替わります。

初期設定は[自動]です。

ディマー

ディマーモードで[昼]または[夜]を選択すると設定できます。

調整は、[ディマー] 項目右にある[-] または[+] キーをタッチして行います。

初期設定は[昼:+20]、[夜:+10]、[自動]です。

設定

画面の右にある[設定] キーをタッチすると設定リストが開きます。目的の項目の右にあるキーをタッチすると、調整またはサブメニューの表示ができます。[閉じる] キーをタッチしてリストを閉じます。



AUX

入力感度

AUXデバイスの入力感度を[低]、[中]または[高]から選択します。

初期設定は[中]です。

Bluetooth

Bluetooth

Bluetooth機能の[On]または[Off]を選択します。初期設定は[On]です。

電話音声出力

電話モードでのスピーカーを[左]または[右]から選択します。

初期設定は[右]です。

トーン選択

[自動] キーをタッチすると、お使いの携帯電話の着信音が表示されます。

[内部] キーをタッチすると、本機にプリセットされている着信音が表示されます。

初期設定は[自動]です。

MEMO

[自動] を選択しても携帯電話機によっては、[内部] の着信音が表示されることがあります。

カメラ

カメラの割り込み

[カメラの割り込み]の設定です。

[On] キーをタッチすると、車のリアスギアを入れたときにリアカメラの映像が自動的に切り替わります。

DivX

認証コード

購入したDivX動画ファイル再生のために必要な認証コードが表示されます。

登録解除

一度登録した本機の登録を解除することができます。解除後は、10桁の登録解除コードが表示されます。

登録解除に関して詳しくは、[http://vod.divx.com/] を参照してください。

DVD

• メニューの言語

リストからメニューの言語(日本語、英語、フランス語、スペイン語)を選択します。

初期設定は[日本語]です。

• 音声言語

リストからオーディオの言語(日本語、英語、フランス語、スペイン語)を選択します。

初期設定は[日本語]です。

• 字幕言語

リストから字幕の言語を選択します。

初期設定は[日本語]です。

• パスワードの設定

パレンタルコントロールのパスワードを設定するには、[設定] キーをタッチ、DVDのパスワード設定の[設定] キーをタッチしてパスワード設定画面を表示します。数字をタッチして数値を入力し、[決定] キーをタッチします。[X] キーをタッチすると、入力された数字が削除されます。[戻る] キーをタッチして終了します。

初期設定は[0000]です。

• パレンタルコントロール

MEMO

視聴制限が設定されたディスクを再生するときにパスワードの入力画面が表示されることがあります。この場合、正しいパスワードを入力しないと再生は開始されません。

パレンタルコントロールのレベルを設定するには、[設定] キーをタッチ、DVDのパレンタルコントロールの[視聴制限レベル] キーをタッチしてパレンタルコントロール画面を表示します。パスワードを入力し、下表を参考に視聴年齢制限レベルを選択します。[決定] キーをタッチして確定するか、[戻る] キーをタッチして終了します。パレンタルレベルの制限内容は、国(カントリーコード)によって異なります。

レベル1	子ども向け
レベル2	一般向け
レベル3	保護者の手引きが必要
レベル4	保護者の厳重な注意が必要

レベル5	保護者の制限が必要
レベル6	保護者の同伴が必要
レベル7	17歳未満は鑑賞禁止
レベル8	成人向け

■ ナビゲーション

• ナビガイド割り込み

ナビゲーションの割り込みを、[On]、[ポップアップ]または[Off]から選択します。

On	誘導案内地点でナビゲーション画面がAV画面に優先して表示されます。
ポップアップ	ルート案内中にポップアップ画面がAV画面上に表示されます。
Off	この機能をオフにします。

初期設定は[On]です。

• 誘導音声

ナビゲーションの音声案内を[On]/[ミュート]/[Off]から選択します。

On	音声ガイドダンスの割り込み機能がオンになります。割り込み中のAVサウンドの音量低減機能はオフ(音量は変わりません)です。
ミュート	音声ガイドダンスの割り込み機能がオンになります。割り込み中のAVサウンドの音量低減機能はオン(音量がミュートされます)になります。
Off	音声ガイドダンスの割り込み機能がオフになります。割り込み中のAVサウンドの音量低減機能はオフ(音量は変わりません)です。

初期設定は[On]です。

盗難防止

■ 盗難防止パスワードの設定

盗難防止パスワードを設定できます。正常に設定した後は、バッテリー線を再接続した際に、盗難防止パスワードを入力しなくてはなりません。

1. [全般] キーを、ダイアログボックスがポップアップ表示されるまでタッチし続けます

「盗難防止パスワードを設定しますか？」のダイアログボックスが表示されます。

2. [はい] キーをタッチします

パスワード設定画面が表示されます。

3. 4桁のパスワードを入力し、[決定] キーをタッチします

4. 確認のためもう一度入力し、[決定] キーをタッチして確定します

盗難防止パスワードが設定されます。

お願い

- 盗難防止パスワードは忘れないようにメモをしておいてください。正しいコードを入力しないと、本機を操作することができなくなります。
- 盗難防止パスワードを忘れたときは、「盗難防止用暗証番号を忘れてしまったら」(56ページ)をご覧ください

■ 盗難防止パスワードの消去

- 盗難防止パスワードを消去するには、[全般] キーを、ダイアログボックスがポップアップ表示されるまでタッチし続けます
「盗難防止パスワードを消去しますか？」のダイアログボックスが表示されます。

- [はい] キーをタッチします
パスワード消去画面が表示されます。

- 設定してあるパスワードを入力し、[決定] キーをタッチします
盗難防止パスワードが消去されます。

故障かなと思ったら

次のような症状のときには故障でないことがあります。修理を依頼される前に対処方法にしたい処置してください。それでも解決されない場合にはお買い求めの販売店にご相談ください。

■ 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない。 音が出ない。	ヒューズが切れている。	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
	配線が正しくない。	取付説明書をご覧ください正しく配線してください。お買い求めの販売店にご相談ください。
ボタンを押しても動作しない。またはディスプレイが正確に表示されない。	ノイズなどが原因で、誤動作している。	リセットボタンを細い棒などで押してください。 注意： * リセットボタンを押すと、電源がオフになります。 * リセットボタンを押すと、放送局の周波数、タイトルなどが消去されます。
リモコンが動作しない。	本機のリモコン受光部が直射日光にさらされている。	直射日光が当たらない場所で操作してください。直射日光の下ではリモコンの操作が行えない場合があります。
	リモコンの電池の不良、電池の残量がない。	リモコンの電池を確認してください。 リモコンの電池の不良、電池の残量がないときは電池を交換してください。

■ テレビ・ビデオ

症状	考えられる原因	対処方法
音声は出るが、映像が出ない。	パーキングブレーキがかかっている。走行中は、安全のため映像は表示されません。	車を停車させ、パーキングブレーキをかけてください。
	パーキングブレーキのリード線が接続されていない。	取付説明書をご覧ください正しくリード線を接続してください。
画面が暗い。	明るさ調整が不適切。	明るさまたはディマーを調整してください。
	車両のライトが点灯している。	夜間は、画面を暗くして、眩しさを防いでいます。（昼間でも、車両のライトを点灯すると、画面は暗くなります）
「B-CASカードを確認してください」と表示される	B-CASカードが挿入されていない	B-CASカードをスロットに正しく（カチッと音がするまで）挿入してください。「mini B-CASカードのセット」(21ページ)
テレビが映らない。	テレビアンテナが正しく接続されていない。	テレビアンテナの取付説明書をご覧くださいテレビアンテナを正しく接続してください。
	チャンネル設定が地域に合っていない。	都道府県を越えて地域を移動したときは、チャンネルスキャンを行い、その地域に合ったチャンネルに設定してください。
画面に赤、緑、青の点がある。	-----	故障ではなく、液晶パネル特有の現象です。（液晶パネルは非常に精密度の高い技術で製造されておりませんが、0.01以下の画素欠落、常時点灯がございます。）

■ DVD・CDプレーヤー

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクが入らない。	本機の中にディスクが入っている。	すでに入っているディスクを取り出して、新しいディスクを入れてください。
	ディスク挿入口に異物が入っている。 輸送用固定ビスがついたままになっている。	異物を取り除いてください。それでもディスクが入らない時は、お買い求めの販売店にご相談ください。 輸送用固定ビスを外して下さい
音が出ない。	ディスクを裏表逆に入れている。	ディスクの印刷面を上に入れてください。
音とびする。 ノイズが入る。	ディスクが汚れている。	ディスクをやわらかい布でふいてください。「ディスクのお手入れ」(9ページ)をご覧ください。
	ディスクに大きい傷やソリがある。	傷やソリのないディスクに交換してください。
電源を入れた直後の音質が悪い。	本体内部のピッキンズに水滴が付いている	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
ビデオ映像が表示されない。	パーキングブレーキがかかっている。走行中には、安全のため映像は表示されません。	車を停車させ、パーキングブレーキをかけてください。
	パーキングブレーキのリード線が接続されていない。	取付説明書をご覧ください正しくリード線を接続してください。
「PARENTAL VIOLATION」と表示されてディスクが再生できない。（表示するメッセージは、ディスクにより異なります。）	設定されたパレンタルレベルにより視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除してください。またはレベルを変更してください。 パレンタルコントロール(53ページ)をご覧ください。

■ Bluetooth

症状	考えられる原因	対処方法
ペアリングができない。	デバイスが本機に必要なプロファイルをサポートしていない。	他のデバイスを接続してください。
	デバイスのBluetooth機能が有効になっていない。	デバイスの取扱説明書に記載された手順でBluetooth機能を有効にしてください。
	本機のBluetooth機能がOnになっていない。	本機のBluetoothをOnにしてください。「Bluetooth」(52ページ)をご覧ください。
Bluetooth対応デバイス接続後に音質が悪くなった。	Bluetooth通信の状態が悪い。	デバイスを本機の近くに移動するか、デバイスと本機との間の障害物を取り除いてください。

■ナビゲーション

症状	考えられる原因	対処方法
GPS受信の表示がでない。	アンテナケーブルが接続されていない。 障害物などにより、GPS衛星の電波を受信できない。 フェリーなどで大幅に移動した。	アンテナケーブルを接続してください。（取付説明書を参照してください） 障害物などがなくなれば受信できます。 ※ 上空にある障害物、周辺の高いビルなど 走行することにより表示されるようになります。
メニュー画面が表示されない。	パーキングブレーキがかかっていない。走行中は、安全のため、操作禁止キーは表示されません。	車を停車させ、パーキングブレーキをかけてください。
地図画面が乱れる。	電氣的ノイズを発生する電製品（以下）を本機の近くで使用している。 ・高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など ・電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
電源投入直後、画面が暗く見づらい。	気温が低いときは、液晶バックライトの特性上、輝度が低い場合がある。	そのまま使用してください。バックライトが温まれば解消されます。
音声案内が出ない。	誘導音声、「OFF」に設定されている。	誘導音声の設定を「ON」にしてください。「誘導音声」(53ページ)をご覧ください。
地図画面が出ない。	地図専用microSDカードが装着されていない。	地図専用microSDカードを正しく装着してください。「地図SDカード挿入口」(12ページ)

■リアカメラ

症状	考えられる原因	対処方法
カメラ映像が表示されない。	車両ギアがバックになっていない。 カメラが正しく接続されていない。 バック信号の接続が間違っている。	セレクトレバーがPの位置になっているか確認してください。 取付説明書をご覧くださいカメラを正しく接続してください。 取付説明書をご覧くださいバック信号を正しく接続してください。
カメラ映像の映りが悪い。	カメラのレンズが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。

■SDカード・USB・iPod/iPhone

症状	考えられる原因	対処方法
microSDカード・USBデバイスが挿入できない。	microSDカード・USBデバイスの挿入方向が間違っている。 USBデバイスのコネクタが破損している。	microSDカード・USBデバイスの向きを変えてもう一度挿入してください。 新しいUSBデバイスと交換してください。
microSDカード・USBデバイスが認識されない。	microSDカード・USBデバイスのコネクタの接続が悪い。 microSDカード・USBデバイスが破損している。	microSDカード・USBデバイスを抜き差ししてください。 それでも認識しない場合は、新しいmicroSDカード・USBデバイスと交換してください。
音が出ない。ファイルリストにファイルが表示されない。	microSDカードが装着されていない。	microSDカードを正しく装着してください。「SDカードの出し入れ」(36ページ)
音とびずる。ノイズなどが入る。	microSDカード・USBデバイスにMP3/WMAファイルが保存されていない。 MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない。	microSDカード・USBデバイスにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。 正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
iPod/iPhoneビデオが出ないまたは乱れる	iPod/iPhoneのTV出力がオンになっていない。 正しいケーブルで接続していない。	iPod/iPhoneのTV出力をオンにしてください。またTV信号はNTSCに設定してください。 別売のCCA-750-500ケーブルを使用し接続してください。ただし、一部のiPod/iPhoneでは接続コネクタが合わず接続できない場合や、接続してもビデオ再生ができない機種もございます。詳しくは、弊社Webサイト (http://www.clarion.com/) をご覧ください。

■その他

症状	考えられる原因	対処方法
読み込み中と表示される	ディスクを読み込めない。	そのまま、お待ち下さい。一部のディスクやストレージデバイスでは、数分かかります。
画面が乱れる。	ノイズによる影響。	電氣的ノイズを発生する電製品（携帯電話、無線機、マイナスイオン発生器など）は、本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
ナビゲーション使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	液晶バックライトの故障、ナビゲーション本体の誤動作。	いったんお車を安全な場所に停車してエンジンをかけ直してください。 その後も元に戻らない場合は、液晶バックライトの故障か、ナビゲーション本体の誤動作が考えられますので、お買い求めの販売店、または弊社「お客様相談室」にご相談ください。
起動直後に、ボタンが反応しないときがある。	地図専用microSDカードの地図データ読み込みによる影響。	しばらく待ってから操作を行ってください。
「地図データが読めません（※）」の画面が表示される。	地図専用microSDカードが正しく挿入されていない。	地図専用microSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。

エラー表示について

障害が発生したときは、以下のような表示がされます。対処方法にしたがって障害を取り除いてください。
解決方法が見つからない場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。

エラー表示	考えられる原因	対処方法
読みません	ディスクが汚れていて、再生出来ない。	「ディスクのお手入れ」をご覧ください。、柔らかい布などで、ディスクを拭いてください。
	ディスクを裏返しに入れ、再生出来ない	ディスクをイジェクトし、ラベル面を上にして、ディスクを入れ直してください。
	ディスクに傷などがあり、再生出来ない。	傷や、そのりないディスクと交換してください。
再生できないファイルです。 Video frame rate not supported. Video resolution not supported.	ディスクフォーマットが本機で対応していない。もしくは、ビデオの圧縮形式や、解像度、ビットレートなどが本機で対応していない。	本機で対応しているディスクや、圧縮形式、解像度、ビットレートのファイルにしてください。 本機で対応しているディスクについては「Discについて」(25ページ)の欄を、ファイル形式については「本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」(10ページ)の欄をご覧ください。
	Region is incorrect	DVDディスクが本機のリージョンコードに対応していない。 本機のリージョンコードは、「2」です。 リージョン「2」と「ALL」または、「2を含む」ディスクを入れてください。

上記以外のエラーが表示された場合は、リセットボタンを押してください。それでも問題が解決しない場合は、電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

※ リセットボタンを押すと、メモリーに記憶されているラジオ局の周波数やタイトルなどが消去されます。

盗難防止用暗証番号を忘れてしまったら

盗難防止用暗証番号を忘れてしまったときは、「暗証番号照会申込書」に必要事項を記入して、弊社「お客様相談室」宛に郵送してください。

「暗証番号照会申込書」は、弊社ホームページ(<http://www.clarion.com/>)よりダウンロードしてプリントアウトするか、または弊社「お客様相談室」に請求してください。

暗証番号照会申込書

暗証番号照会申込書(AV ライトナビゲーション)

電話番号から、次に使用する際の暗証番号を忘れてしまった場合は、本申込書に必要事項を記入の上、クリアオンお客様相談室宛に暗証番号照会の申し込みをしてください。

申込年月日 平成 年 月 日

クリアオン株式会社 お客様相談室 行

1. お客様の連絡先 (暗証番号の通知・送付先になります。)

氏名	フリガナ		
住所	フリガナ 〒		
電話番号	— —	FAX 番号	— —

※ 本人・所有確認のため電話連絡させていただく場合があります。

2. 商品情報

機種名および、購入先をご記入願います。

購入先で、□ その他のに□をされたお客様は所有手段をご記入願います。

機種名	(例)NX501	製造番号	7桁の数字をご記入ください
購入先	☐ カー用品店 ☐ カーディーラー ☐ その他()		

<申し込み手順>

① 上記、必要事項をご記入してください。

② 商品照会保証書をつぶり、もしくは申請者の方が正統の所有者であることの証明書(購入・譲渡証明、重宝の第三者証明)を添付願います。(必須事項となります)

③ 本申込書・証明書類を同封の上、クリアオンお客様相談室宛に郵送又は、FAXにて送付してください。

送付先
〒330-6030 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2
ランド・アックス・タワー 30階
クリアオン株式会社 お客様相談室 宛
FAX: 048-601-3807

【個人情報保護に関して】

本申込書に記入していただいた個人情報は、ご提示した目的の範囲内で利用させていただき、外部への公表、不正アクセス、紛失、漏洩、改竄、窃取、がないよう適切にセキュリティ管理いたします。

※暗証番号照会申込書の書式は、改善のため変更される場合がございます。

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

本機内のデータ消去について

本機を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

■ お客様のプライバシー保護のために…

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、以下に記載した内容にしたがって初期化(データの消去)してください。

■ 著作権保護のために…

メモリー内に保存された画像データなどを、以下に記載した内容にしたがって初期化(データの消去)してください。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡(有償および無償)・転売されますと、著作権法に抵触するおそれがあります。

※ 弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを初期化する

本機に保存されたデータをすべて消去(初期化)します。

1. メインメニューから[設定] キーをタッチし、[全般] キーをタッチし、[出荷状態に戻す] キーをタッチします
お客様が設定したテレビ関連以外のAudio設定情報が消去され、工場出荷状態に戻ります。
2. 「テレビの設定情報を初期化する」(24ページ)の手順をご覧になり、初期化を行います。
お客様が設定したテレビ関連の設定情報が消去され、工場出荷状態に戻ります。
3. ナビゲーション操作ガイドの「各種情報を初期化する」(75ページ)の手順をご覧になり、[工場出荷物状態に戻す] 項目の初期化を行います。
お客様が設定したナビ関連の設定情報が消去され、工場出荷状態に戻ります。
4. 「盗難防止パスワードの消去」(53ページ)の手順をご覧になり、パスワードを消去します。
(盗難防止パスワードを設定した時)
お客様が設定した盗難防止用パスワードが消去されます。

保証書とアフターサービス

■ 保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。

なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

保証書に記載の期間をご確認ください。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

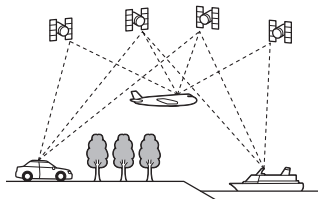
■ その他

アフターサービスの詳細、その他ご不明な点は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口、あるいはお客様相談室へご相談ください。

ナビゲーションのしくみ

GPSによる測位

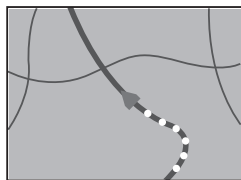
GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。



マップマッチング

GPSによる測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このように、[車は道路上を走るもの]と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

■ マップマッチングしている場合

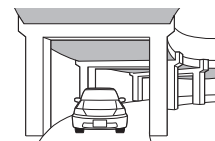


誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

■ GPS測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



2層構造の高速道路の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

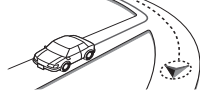
- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
※ GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

■ GPS衛星自体による誤差

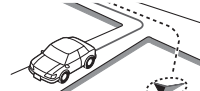
- GPS衛星は米国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できる衛星の数が少ないときは、2次元測位となり、誤差が大きくなります。

■ その他の誤差について

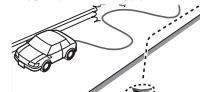
- 角度の小さなY字路を走った場合。
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



- 蛇行運転をした場合。



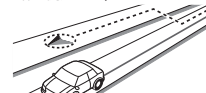
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を行った場合。



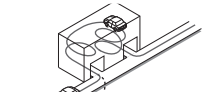
- ヘアピンカーブが続いた場合。



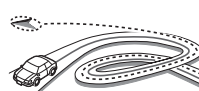
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



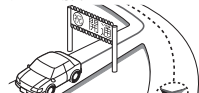
- 立体駐車場などで旋回や切り返してを繰り返した場合。



- ループ橋などを通った場合。



- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を移動中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

仕様

■FMチューナー部

受信周波数：76 MHz ～ 90 MHz

実用感度：13 dBf

■AMチューナー部

受信周波数：522 kHz ～ 1629 kHz

実用感度：30 dBμV

■デジタルTVチューナー部

ISDB-T方式、フルセグ/ワンセグチューナー

2入力ダイバーシティ・アンテナ(電圧重畳 DC5V)

受信チャンネル：UHF13 ～ 62 ch

■DVD/CDプレーヤー部

再生可能オーディオフォーマット：CD-DA, MP3, WMA

再生可能ビデオフォーマット：DVD-Video, AVI, MP4,
MPG/MPEG, DivX

CD-DA/DVD-Video再生性能

周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz

SN比：90 dBA (Line Out)

高調波歪み率：0.1 %

■モニター部

画面サイズ：6.8型 ワイドタイプ

画素数：1,152,000

解像度：800 × 480 × 3 (RGB)

表示方式：透過型TN液晶

駆動方式：TFTアクティブマトリクス

■SDカード部

カード規格：microSD/microSDHC

File system：FAT16,FAT32

再生可能オーディオフォーマット：MP3, WMA

再生可能ビデオフォーマット：MP4, MPG/MPEG, 3GP

解像度：480 × 272

■USB部

規格：USB 1.1/2.0 マスストレージクラス

再生可能オーディオフォーマット：MP3, WMA

再生可能ビデオフォーマット：AVI, MP4, MPG/MPEG, DivX

解像度：720 × 480

■Bluetooth

規格：Bluetooth Ver 2.0+EDR

プロファイル：

HFP1.5(Hands Free Profile)

A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP1.0, 1.3(AV Remote Control Profile)

PBAP1.0(Phone Book Access Profile)

電波強度クラス：Class2

■AUX入力

オーディオ入力電圧：≤ 2 Vrms

ビデオ入力電圧：1.0 Vp-p@75Ω

オーディオ入力感度(1.0V出力時)：

High：325 mVrms

Mid：650 mVrms

Low：1.3 Vrms

■カメラ入力

ビデオ入力：1.0Vp-p/75Ω

ビデオ形式：コンポジット・ビデオ/NTSC方式

■オーディオ部

定格出力：23 W (10 %, 4 Ω)

適合インピーダンス：4 Ω

■共通

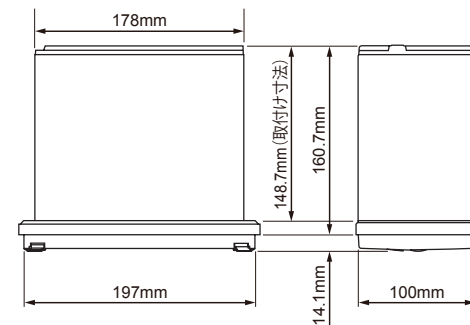
電源電圧：DC 14.4 V (10.8 V ～ 15.6 V 許容電圧範囲)

接地方式：マイナス接地

消費電流：約 4 A (1 W時)

Autoアンテナ定格電流：300 mA

※ これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。



本体外形寸法：178(w) x 100 (h) x 160.7 (D) mm

本体質量：2.0 kg

商標について

- 本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作物保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、Rovi Corporationの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバーシエンジンアリングや分解は禁止されています。

-  はDVDフォーマットロゴライセンスング(株)の商標です。

- DivX[®]、DivX Certified[®]、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

プレミアムコンテンツを含むDivX[®]ビデオ再生対応のDivX Certified[®] (DivX認証)取得済み。次の1つ以上の米国特許により保護されています: 7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274

DIVXビデオについて:

DivX[®]は、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLCが開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、正式なDivX Certified[®]デバイスであり、DivXビデオが再生可能であることを検証する厳しいテストに合格しています。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

DIVXビデオオンデマンドについて:

DivXビデオオンデマンド(VOD)コンテンツを再生するには、このDivX Certified[®] (DivX認証) デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。

DIVX[™]



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

- Bluetooth[®]ワードマークおよびロゴは、Bluetooth[®] SIG, Inc.の所有物であり、クラリオン(株)は許可を受けて使用しています。その他の商標および商標名は、各権利者に帰属します。



- microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.



- Microsoft、WindowsおよびWindows XP / Windows Vista / Windows 7は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

- "Made for iPod," and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance. iPhone and iPod are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.



memo

クラリオン株式会社

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客室相談室へ

フリーダイヤル 0120-112-140

(土・日・祝・祭日を除く 9:30~12:00、13:00~17:00)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとで問い合わせされるときに便利です。

TX-1150A

Printed in China 2013/SEP